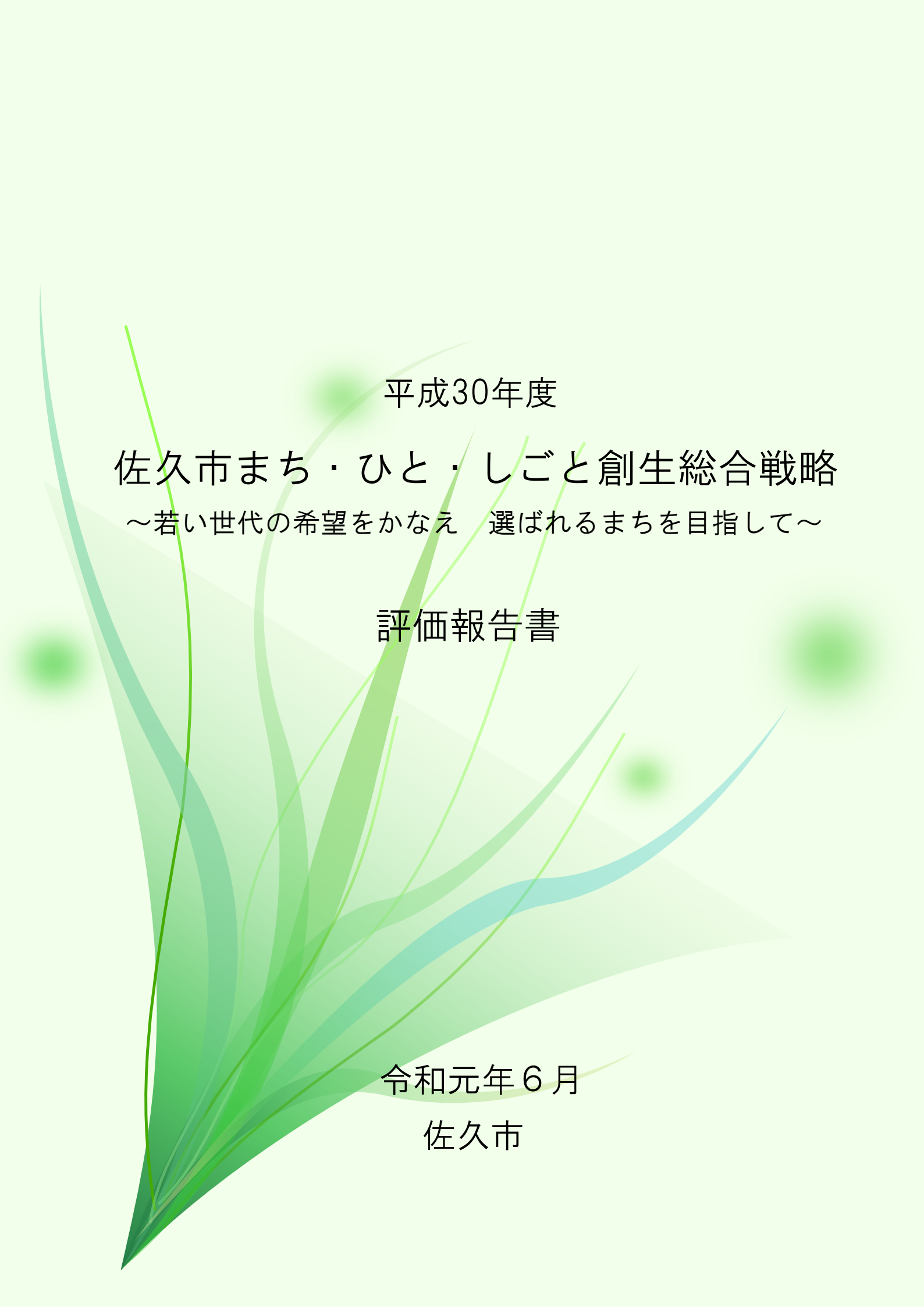


A stylized graphic of a plant with long, flowing green and blue leaves, resembling a reed or grass, positioned on the left side of the page. The leaves are layered and have a soft, ethereal quality.

平成30年度

佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

評価報告書

令和元年 6 月

佐久市

目次

「佐久市人口ビジョン」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要・・・・・・・・	2
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について・・・・・・・・	3
数値目標・重要業績評価指標（K P I）の評価	
基本目標①	
安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生・・	5
基本目標②	
多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生・・	16
基本目標③	
安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における	
「ひと」の創生・・・・・・・・・・・・・・・・	23
基本目標④	
安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生・・	36
地方創生関係交付金事業の実施結果・・・・・・・・	46

「佐久市人口ビジョン」の概要（H27.10 策定）

人口ビジョンの位置付け及び対象期間

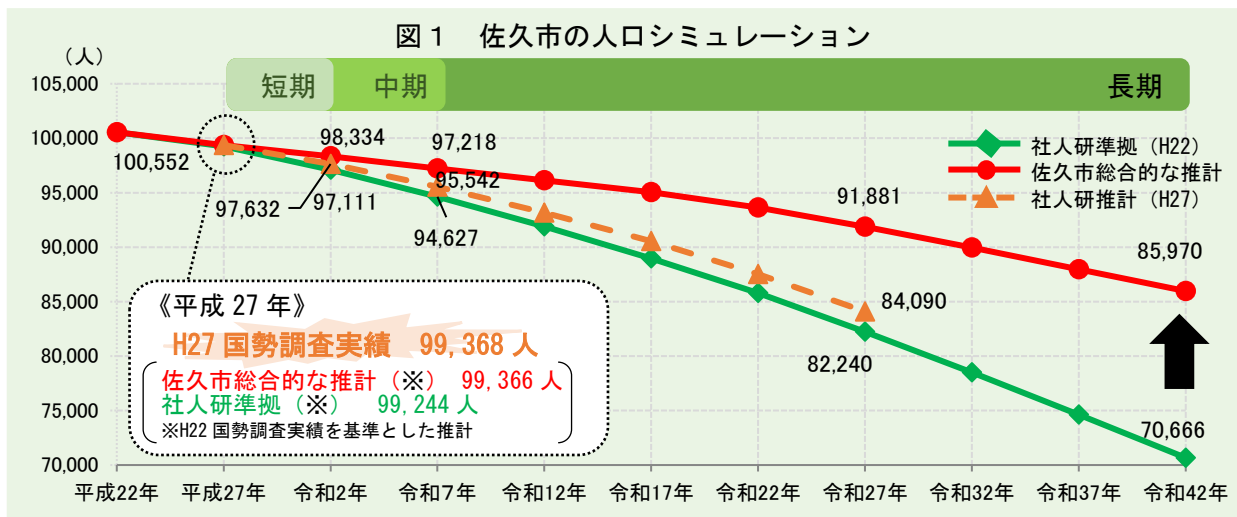
- 1 本市における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの
- 2 本市のまち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策の企画・立案をする上での重要な基礎
- 3 対象期間は、平成 27(2015)年～令和42(2060)年度

人口の現状及び将来推計

- 1 本市の総人口は、平成 22 年をピークに減少に転じ、平成 26 年 10 月 1 日現在の県人口異動調査では**約 99,600 人**
- 2 合計特殊出生率は、全国や県よりは高いが、ほぼ横ばいの状態が続いており、平成 26 年は **1.59**
- 3 社会動態を平成 22 年から平成 26 年の 5 年間の平均で見ると、**100 人/年の社会増**
- 4 国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計に準拠した推計では、今後、令和 22 年には人口は **86,000 人**を下回り、令和 42 年には **71,000 人**を下回る

人口の将来展望

- 1 市民アンケート結果による「理想とする子どもの数」の平均は 2.44 人であり、一定の施策を講じることにより、令和 17 年に合計特殊出生率 **2.07** を実現（国より 5 年早く実現）
- 2 現在の 100 人/年の人口の社会増を、平成 27 年～令和 2 年までは倍の **200 人/年の社会増**とする
- 3 合計特殊出生率の改善による人口の自然増と移住促進等による社会増のさらなる増加により、令和 42 年の人口 **85,970 人**を長期的な展望とする（社人研推計より約 15,000 人増）



佐久市の基本的な姿勢

- ☞若い世代の希望をかなえることにより、合計特殊出生率の上昇を目指す
- ☞各年齢階層にあった転入促進、転出抑制による人口の社会増を目指す

人口 10 万人を目指す

「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要（H31.3 改定）

基本的な考え方

- 1 佐久市における人口減少と地域経済の縮小の悪循環を断ち切る
- 2 佐久市におけるまち・ひと・しごと創生と好循環を確立する

総合戦略の位置付け

人口ビジョンで描く将来展望を踏まえ、平成 27 年度から令和元年度までの 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

施策の企画・実行に当たっての基本方針

- 1 市民の暮らしを守り、研ぎ澄ます身近な施策
- 2 佐久市の特色や地域資源を生かした施策
- 3 地域の強みや特徴を生かした施策
- 4 高速交通網を生かした施策
- 5 地域間の連携を生かした施策

基本目標

佐久市におけるまち・ひと・しごとの創生に向け、佐久市人口ビジョンを踏まえ、以下の 4 つの基本目標を設定

①安定して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

【数値目標】

・市内事業所の従業者数
40,203 人 (H26)
⇒41,100 人 (R1)

②多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・人口の社会増
－ (H26)
⇒1,000 人 (R1)

③安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・合計特殊出生率
1.59 (H26)
⇒1.69 (R1)

④安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

【数値目標】

・「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合
75.1% (H26) ⇒80% (R1)

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するための新たな取組

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するため、本戦略に位置付けて新たに実施する主な取組として、以下の取組を推進

佐久市における雇用の安定と仕事づくり	選ばれる佐久市を目指した新しい人の流れづくり	若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現	生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるまちの実現
●市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費補助 ●新製品・新技術の研究開発や創業の支援 ●保健医療分野における視察研修の受入拡大と国際展開 ●健康長寿を生かした産業の活性化とまちづくりの推進 など	●佐久市における生涯活躍のまちの構築 ●新たな工業団地の整備 ●無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)の実施 ●インターンシップに参加する学生に対する補助 ●佐久市奨学金の償還の一部免除 など	●保育料の負担軽減 ●子ども福祉医療費給付金支給対象年齢の拡大 ●妊産婦に対する医療費の助成 ●未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベント等の開催 など	●佐久平駅南土地区画整理事業への支援 ●中心市街地活性化基本計画の策定

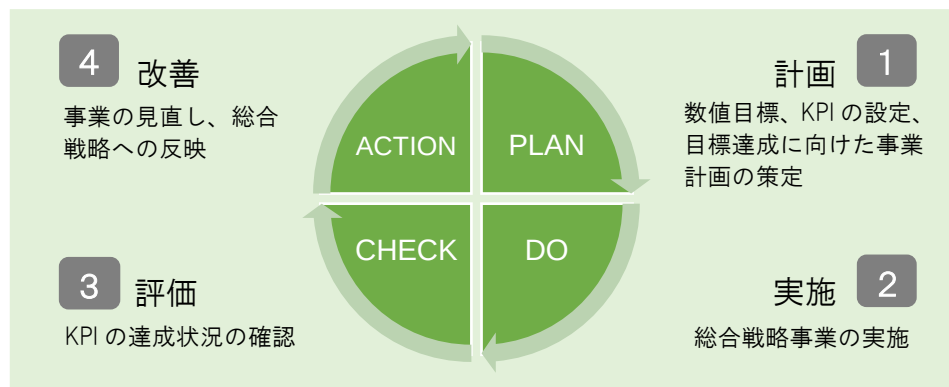
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について

1 趣旨

まち・ひと・しごと創生法の施行を受け、市では平成 27 年度に「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。

総合戦略に基づく事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立することが必要とされていることから、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用します。

数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も含めて評価を行い、その結果を市民の皆さんに公表します。



2 総合戦略の進捗状況

総合戦略の平成 30 年度の施策に係る数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況の概要は、下記のとおりです。

(1) 進捗管理の方法

実績値が基準値からどの程度進展したかを、目安値と比較して進捗率を計算し、次のとおり評価しています。

順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし
目安値以上	80%以上 100%未満の進捗	80%未満の進捗	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	・統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない ・目安値・実績値がともに0の場合

※目安値: 令和元年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。

多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしています。

ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定しています。

※進捗率 = (実績値 - 基準値) / (目安値 - 基準値) で算出

(2) 数値目標の進捗状況

4つの基本目標における数値目標について、計画達成年度(令和元年度)の目標達成に向けた進捗状況の評価した結果、下記のとおりとなりました。

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標① 安心して働き続けることができる 佐久市における「しごと」の創生			
市内事業所の従業者数 【H26】40,203人 ⇒ 【R1】41,100人	40,920 (H30)	—	実績値なし ※経済センサス未実施のため

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標② 多くの人に選ばれることができる 佐久市における「ひと」の創生			
人口の社会増（計画期間の累計） － ⇒ 【R1】 1,000 人	800 人 (H30)	982 人	順調
基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる 佐久市における「ひと」の創生			
合計特殊出生率 【H26】 1.59 ⇒ 【R1】 1.69	1.67 (H30)	－	未公表 ※R1.10 公表予定
基本目標④ 安心して暮らし続けることができる 佐久市における「まち」の創生			
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【H26】 75.1% ⇒ 【R1】 80.0%	79.0 (H30)	75.4	努力を要する

(3) 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

63 のKPIについて、計画達成年度(令和元年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、下記のとおりとなりました。

【平成 30 年度分】

基本目標	順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし	計 (%)
1	6 (40.0)	1 (6.7)	3 (20.0)	4 (26.6)	1 (6.7)	15 (100.0)
2	2 (18.2)	1 (9.1)	6 (54.5)	1 (9.1)	1 (9.1)	11 (100.0)
3	13 (65.0)	0 (0.0)	7 (35.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (100.0)
4	6 (35.3)	3 (17.6)	6 (35.3)	2 (11.8)	0 (0.0)	17 (100.0)
計 (%)	26(41.3)	6 (9.5)	22 (34.9)	7 (11.1)	2 (3.2)	63 (100.0)

※ () 内は構成比。

★主な成果について

総合戦略に記載されている「具体的な取組」について、平成 30 年度の取組内容と主な成果について記載してあります。

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

基本目標の考え方	市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、まず、仕事の創出・雇用の創出に取り組みます。
----------	---

数値目標の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
市内事業所の従業者数 【経済センサス】	目安値		—	40,560	—	—	41,100	人
	実績値	40,203	—	40,327	—	—		
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	実績値なし	実績値なし		
総合分析	基本目標①の数値目標は国の基幹統計調査に基づき設定しています。H30は経済センサスの調査が行われていないため、実績値を把握することができないことから、「実績値なし」となります。 「市内事業所の従業者数」は、H28において目安値を下回ったものの、基準値(H26)の40,203人から124人増加しています。企業誘致や企業の経営基盤強化による雇用の確保など、安心できる暮らしを支えるための「しごと」の確保に向けた取組を引き続き推進することが必要です。 H28実績値を産業大分類別にみると、「製造業」が9,114人(全産業の22.6%)と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が7,704人(同19.1%)、「医療、福祉」が6,783人(同16.8%)となっており、上位3産業で全体の5割以上を占めています。 なお、基準値(H26)と産業別の比較をすると、「卸売業、小売業」△294人、「建設業」△257人、「製造業」△200人の順で減少数が多くなっている一方、「医療、福祉」は884人増となっており、「医療、福祉」分野の従業者数が大きく増加しています。佐久市経済の持続的な発展のために、減少傾向が見られる分野の現状の打開を図るとともに、本市の強みである「健康長寿」を生かした産業への支援により、しごとの創出の加速化を図ることが重要と考えます。 基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、H30では、「順調」が6項目、「努力を要する」が3項目となりました。 ※H28実績値は、H28経済センサス活動調査の結果から記載しています。							
今後の方針	順調に推進している「保健・医療のつばさ事業」と併せて、R元年からの新規事業である「福祉・介護のつばさ事業」を推進することで、医療・福祉の担い手不足解消を図り、持続的に「健康長寿」のまちとしての基盤を保持するとともに、しごとの創出の加速化を図ります。また、その他新規事業として「臼田工業団地」の整備や「テレワーク施設(サテライトオフィス含む。)」の立地促進、女性・若者を中心とした創業支援を推進することで、雇用創出力の向上を図ります。							

(1) 地域産業の競争力強化

ア 市内企業の成長の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)
製造品出荷額 【工業統計調査】	目安値		(1,937)	1,943	1,949	1,955	1,961	1,970
	実績値	1,931	(1,951)	1,934	2,048	2,124	—	
	進捗区分		(順調)	努力を要する	順調	順調	未公表	
進捗状況の分析	H28実績値の主な増要因は、食料品製造業における大幅な増(約119億円増)によるものです。その他増減額が大きい業種は、生産用機械器具製造業の約32億円増、電気機械器具製造業の約31億円増、電子部品・デバイス・電子回路製造業の約72億円減などです。 ※出典先について、H28実績値は、H29年(6月1日)に実施したH29工業統計調査で把握(調査日を12月31日から6月1日に変更したため。以後同様。)し、確報値に修正しました。H29実績値はH31年(2月28日)県公表の速報値です。なお、産業分類毎の詳細は現時点では不明のため、分析は行っていません。また、H30実績値については、H31の工業統計調査が未実施のため、現時点では「未公表」となります。							
今後の方針	引き続き、各種施策の推進により、製造品出荷額の増加を図ります。							

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
空き店舗対策事業を活用した創業件数(計画期間の累計)	目安値		5	10	15	20	25	件	
	実績値	—	8	15	20	38			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	空き店舗を活用した出店に係る改修費及び家賃の補助が、創業の後押しにつながっていると考えられます。								
今後の方針	引き続き、事業の周知を図ることにより、創業件数の増加を図ります。								

主な成果									
●市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費の補助 平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:8件 (平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:6件) (平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件) ●企業間連携による新製品及び新技術の共同開発への補助 平成30年度実績 補助件数:6件 (平成29年度実績 補助件数:4件) (平成28年度実績 補助件数:4件) ●製造業事業者に対する経営・技術・知的財産に関する相談支援事業の実施 平成30年度実績 活動件数:延800回 (平成29年度実績 活動件数:延539回) (平成28年度実績 活動件数:延396回) ●市内企業経営や技術向上、品質管理等に関する助言者の派遣 平成30年度実績 活動件数:延547回 (平成29年度実績 活動件数:延309回) (平成28年度実績 活動件数:延316回) ●新製品・新技術の研究開発や創業の支援 ・平成29年度末に新製品・新技術の研究開発や創業の支援を行う「佐久産業支援センター」を商工団体との連携により設立 平成30年度実績 産業支援センターによる支援件数:107件 ●商店街等の空き店舗を活用した創業経費への補助 ・空き店舗を賃貸して出店する際の改修費及び賃借料を対象として補助金を交付 平成30年度実績 新規出店件数:20件(うち創業18件) (平成29年度実績 新規出店件数:6件(うち創業5件)) (平成28年度実績 新規出店件数:10件(うち創業7件)) ●中小企業の展示会への出展に係る経費への補助 平成30年度実績 補助件数:12件 (平成29年度実績 補助件数:3件) (平成28年度実績 補助件数:6件)									

イ 農林水産業の生産性向上とブランド化の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
農業法人数 【農政課調】	目安値		23	24	25	26	27	法人	
	実績値	21	23	24	25	27			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			

進捗状況の分析	営農相談等を通じた法人化の支援により、農業法人数は着実に増加しています。								
今後の方針	引き続き、支援を継続し、農業法人数の増加に努めます。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
認定農業者の年間農業所得総額	目安値		1,800	1,850	1,900	1,950	2,000		
【農政課調】	実績値	1,788	1,797	1,660	1,790	1,800		百万円/年	
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	大規模農業者の認定期間が終了したこと等により所得総額が一時減少したものの、期間が満了した者を対象に、認定の取得によるメリットの周知を行い、再度の認定を促しているため、今後所得総額も増加していくと見込まれます。 【参考：認定農業者数の推移】 H26:240人 H27:291人 H28:309人 H29:307人 H30:296人								
今後の方針	各種支援策により、認定農業者に対する経営規模拡大を図ります。また、認定農業者の取得によるメリットの周知を徹底します。								
指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
素材生産量	目安値		(5.8千)	6.1千	6.4千	6.7千	7.1千	7.5千	
【耕地林務課調】	実績値	5.5千	(8.9千)	10.0千	11.5千	10.8千	11.8千		m³/年
※利用可能な木材の伐採量	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	順調		
進捗状況の分析	国産材の利用促進が高まる中で、加工製品について需要があるカラマツ材の素材生産が一時的に増加しています。								
今後の方針	成熟期を迎えつつある森林を搬出間伐、主伐を行い、素材生産量の増加に努めます。								

主な成果	
●新品目野菜等の消費拡大 ・新品目野菜等の地元消費拡大や市内産農産物のPRを実施 平成30年度実績 イベント等における農産物PRの開催：4回、料理研究家によるセミナー開催：2回、関西圏農産物トップセールス：1回 (平成29年度実績 イベント等における農産物PRの開催：11回、料理研究家によるセミナー開催：2回、首都圏農産物トップセールス：1回) (平成28年度実績 イベント等における農産物PRの開催：4回、料理研究家によるセミナー開催：1回、関西圏農産物トップセールス：1回)	
●佐久市望月土づくりセンターにおける良質な堆肥生産の推進 平成30年度実績 生産量 3,259t 販売額 8,081千円 (平成29年度実績 生産量 3,232t 販売額 9,266千円) (平成28年度実績 生産量 3,580t 販売額 8,912千円)	
●佐久市堆肥製産センターにおける良質な堆肥製産の推進 平成30年度実績 製産量 279t 販売額 1,809千円 (平成29年度実績 製産量 266t 販売額 1,943千円) (平成28年度実績 製産量 265t 販売額 1,865千円)	
●農産物の新たな佐久市ブランド育成のための導入試験及び農業者への普及促進 ・新品目の農作物や新たな農業技術について、市の気候等への適合や経済性について試験し、農業者へ普及 平成30年度実績 冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施 佐久古太きゅうり保存会において「信州の伝統野菜」伝承地栽培認定証票シールの作成 ヘルシーテラス佐久南でのPRイベント実施 佐久古太きゅうり紹介リーフレットの作成 (平成29年度実績 冬期間にビニールハウスでの葉物野菜栽培の実施 佐久古太きゅうりが「信州の伝統野菜」の伝承地栽培に認定)	

(平成28年度実績 「カモミール研究会」による出荷量が増加
「佐久古太きゅうり保存会」が農業者により発足)

●市内果樹産地の活性化

・市内の果樹産地の活性化のため、各種支援策を実施

平成30年度実績 果樹栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:11回、11人
花き栽培アシスタント講習の開催数、受講者数:6回、7人
プルーンジョイント栽培に取り組んだ農業者:1人
ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人

(平成29年度実績 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数:12回、6人
ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人)

(平成28年度実績 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数:18回、8人
プルーンジョイント栽培に取り組んだ農業者:1人
ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者:1人)

●佐久市産日本酒のブランド化のための酒米作付支援

・佐久市産酒米を使った日本酒の生産拡大を図るため、酒米作付等を支援

平成30年度実績 長野県産育種品種「信交酒545号」の試験栽培及び醸造試験
栽培期間中の現地検討会の実施、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会の開催

(平成29年度実績 長野県産育種品種「信交酒545号、549号」の試験栽培及び醸造試験
栽培期間中の現地検討会の実施)

(平成28年度実績 長野県産育種品種「信交酒549号」の試験栽培及び醸造試験
栽培期間中の現地での検討会、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会の開催)

●佐久鯉及び水田鮒の生産振興

平成30年度実績 水田鮒養殖技術研修の開催数、受講者数:8回、7人
稚魚生産技術研修の開催数、受講者数:21回、1人
小鮒セミナー&水田鮒水揚げ見学会の実施 参加者数:22名
(平成29年度実績 水田鮒養殖技術研修の開催数、受講者数:10回、3人
小鮒セミナー&水田鮒水揚げ見学会の実施 参加者数:40名)

●用排水路等の農業生産基盤の改良・補修

・老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための改良・補修を実施
高呂原水路工事の実施、土地改良区等への改修事業負担金の支出

●搬出間伐、主伐による素材生産量実績

・適切な森林管理により森林を育成、搬出間伐や主伐による素材生産を促進

平成30年度実績 搬出間伐2.9千 m^3 主伐8.9千 m^3 計11.8千 m^3

(平成29年度実績 搬出間伐3.7千 m^3 主伐7.1千 m^3 計10.8千 m^3)

(平成28年度実績 搬出間伐3.8千 m^3 主伐7.7千 m^3 計11.5千 m^3)

●公有林を対象とした森林認証の取得

・信州カラマツのブランド化を推進するため、佐久地域の公有林を対象としたFMグループ認証(森林管理)を平成29年7月に取得

●林道田口十石峠線の開設支援

・森林整備の促進を図るため、県が実施する林道田口十石峠線の開設に対し、負担金を支出

平成30年度実績 施工延長179m 事業費21,384千円

(平成29年度実績 施工延長100m 事業費32,076千円)

(平成28年度実績 施工延長 70m 事業費41,202千円)

●林道の計画的な維持管理

・林道大河原線をはじめとする市内林道の計画的な維持管理や改良を実施

※林道大河原線 舗装改良工事の実施状況

(平成29年度実績 施工延長275m 事業費25,056千円)

(平成28年度実績 施工延長326m 事業費27,540千円)

ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
観光客入込数	目安値		1,600	1,650	1,700	1,750	2,500	千人/年	
【観光課調】	実績値	1,514	1,567	1,482	1,688	-			
※1月～12月の暦年集計	進捗区分		努力を要する	努力を要する	概ね順調	未公表			
進捗状況の分析									
H29は信州デスティネーションキャンペーンに伴い、観光入込客数が増加しました。 ※H30実績値は、R元年8月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。									
今後の方針									
引き続き、関係機関等と連携を図り誘客に向けたPRを進め、入込数の増加を図ります。									
指標名	年度別 評価	- （基準値）	H29	H30	R1 （目標値）	単位			
東京オリンピック・パラ リンピックの事前合宿 国数（計画期間の累 計）	目安値		-	-	1	国			
	実績値	-	-	-					
	【スポーツ課調】	進捗区分		実績値なし	実績値なし				
進捗状況の分析									
現在、正式な協定前の段階のため、「実績値なし」としていますが、エストニア共和国オリンピック委員会とは既に覚書を交わしている状況で、これに基づき具体的な協議を進めています。									
今後の方針									
R元年7月のエストニアオリンピック委員会委員長と同国事前合宿に対する包括協定の調印を目指します。 また、R元年から佐久市版インバウンドの構築に向けた取組を実施（業務委託・検討委員会の開催等）し、外国人観光客（インバウンド）の誘客推進を図ります。									

主な成果
●道の駅「ヘルシーテラス佐久南」を生かした誘客推進 ・道路利用者の休憩機能や農業をはじめとする地域産業の活性化のための拠点となる「ヘルシーテラス佐久南」が平成29年7月にオープンし、新たな観光拠点施設として誘客推進を図る ●ヒルクライム佐久大会の開催 ・自転車イベント「ヒルクライム」を平成27年度から開催 ※出走者の状況 平成30年度実績 358名 (平成29年度実績 392名) (平成28年度実績 398名) ●佐久総合運動公園の整備 平成30年度実績 野球場建設(H28～H30) ●内山地区における観光拠点の整備 ・内山牧場キャンプ場の改修工事基本計画策定 ●「北斗の拳」×「佐久市」コラボレーション事業の実施 ・観光PRバルーン「北斗の拳バルーン」を製作 ●佐久地域観光戦略会議の仕組みを活用した広域観光の推進 ・佐久地域の市町村、関係団体と連携し、観光資源を生かしたイベント等で佐久地域の特産品や魅力を発信 ※活動の状況 平成30年度実績 6回開催 (平成29年度実績 4回開催) (平成28年度実績 2回開催)

●エストニア共和国ホストタウン交流事業の開催

・平成30年度実績

エストニア共和国出身の元大関・把瑠都氏をイベントに招き、来場者と交流 (H30.5.3-4)
 エストニアラジオ放送少女合唱団を招き、市内小中学生と交流 (H30.8.20-21)
 エストニア国立男声合唱団の来日公演に併せ、エストニア関連雑貨等を販売 (H30.9.16)
 エストニア音楽祭・佐久及びエストニア・デザイン・デイを開催 (H30.10.10)
 エストニア出身の版画家作品による展覧会を開催、併せてエストニア古楽器等のコンサートを実施 (H30.3.9)
 エストニア及び佐久市の子どもたち及び市民の交流事業を開催 (H30.10.20)

・平成29年度実績

市内3か所でエストニアの食品や民芸品などを紹介、販売するエストニアウィークを開催 (H30.2.24-3.2)
 エストニア人のミュージシャンによるミニコンサートや、エストニアの子どもたちと佐久市民による日本文化体験を通じた交流を開催 (H29.10)

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技関係者への事前合宿誘致活動の実施

・平成30年度実績

エストニア共和国オリンピック組織委員会等を訪問し誘致活動を行った (H30.5.22)
 エストニア陸上競技協会事務局長とスポーツディレクターが競技施設と宿泊施設を視察 (H30.11)
 エストニアオリンピック委員会委員長より、同国の陸上競技について事前合宿の内諾を受け、覚書を交わす (H31.3)

・平成29年度実績

エストニアオリンピック委員会副事務総長の競技施設、宿泊施設視察の受入れ (H29.7)
 県スポーツコミッションを通じて、スイスへ競技施設等の資料を送付 (H29.9)
 駐日大使館訪問: エストニア (H29.6、H29.8、H30.1)

エ 持続可能な循環型社会の構築

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
市内の自然エネルギー を用いた電力自給率 【環境政策課調】	目安値		10.14	11.73	13.32	14.91	16.50	%	
	実績値	8.55	11.71	13.78	17.90	—			
	進捗区分		順調	順調	順調	未公表			
進捗状況の分析	メガソーラー発電事業や市民向けの各種補助制度の推進による太陽光等の自然エネルギーの普及により、数値は順調に推移すると見込まれます。 ※H30実績値はR元年12月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	今後も補助事業等の継続により、更なる自然エネルギーの普及を推進します。								

主な成果

●木質バイオマスエネルギーの利用促進

・ペレットストーブ、木質バイオマスボイラー・燃料製造設備の購入及び設置経費に対し補助金を交付

＊木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金

平成30年度実績 ペレットストーブ:19件

(平成29年度実績 ペレットストーブ:10件 木質バイオマスボイラー:2件)

(平成28年度実績 ペレットストーブ:20件 燃料製造設備:1件)

●太陽光エネルギーの利用促進

・年間日照時間が長い本市の特徴を生かし、補助事業やメガソーラー発電を実施

＊太陽光エネルギー普及事業補助金

平成30年度実績 件数:254件 出力:1,856.10kW 37,039千円

(平成29年度実績 件数:299件 出力:1,949.69kW 38,879千円)

(平成28年度実績 件数:286件 出力:1,792.44kW 35,760千円)

＊メガソーラー発電所(佐久市茂田井)
 平成30年度実績 発電量:3,589,284kWh
 (平成29年度実績 発電量:3,477,746kWh)
 (平成28年度実績 発電量:3,341,440kWh)

●水力発電の利用促進

＊老朽化した平根発電所の改修を実施
 平成30年2月竣工

オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
保健医療分野における 視察研修の受入人数 【健康づくり推進課調】	目安値		126	150	160	175	185	人/年	
	実績値	111	90	86	161	176			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	順調	順調			
進捗状況の分析	「保健・医療のつばさ」事業における海外からの視察研修受入を推進し、視察国受入件数とともに、受入人数は増加しました。また併せて視察者の滞在日数も延びています。 【参考:視察国受入件数】 H26:8件 H27:6件 H28:8件 H29:14件 H30:14件								
今後の方針	引き続き、関係団体と協議を行い、プログラムの充実を図るとともに、国内外に向け佐久市の「健康長寿」を発信し、受入人数・受入件数の増加を図ります。								

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
ヘルスケア関連産業に おける新製品・新技術 の開発件数(計画期間 の累計) 【商工振興課調】	目安値		3	6	9	12	件	
	実績値	—	2	2	8			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	概ね順調			
進捗状況の分析	H29末に佐久の強み(健康長寿)を生かした産業振興の推進を事業の柱の一つとする佐久産業支援センターを設立し(H30(6月)に一般社団法人化)、ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発支援を開始したことなどにより、H30は6件の新製品・新技術の開発がありました。							
今後の方針	引き続き、佐久産業支援センターにおいて新製品・新技術の開発等を支援するとともに、新製品の共同開発を支援する市のものづくり支援事業補助金において、病院や介護・福祉施設と連携して製品開発する場合には補助金の上限を増額することにより、件数の増加を図ります。							

主な成果

●世界に誇る佐久市の「健康長寿」ブランドの構築推進

- ・平成29年度に制作した小学生向けの健康プロモーション映像のオリジナルキャラクターを活用した健康啓発ポスターを3種類制作し、市内小中学校、保育園、医療機関、公民館等へ配布し、掲示を依頼
- ・幼少期からの健康意識を高め、将来を見据えた健康長寿のまちづくりを目指し、オリジナルのアニメキャラクターを用いた小学生向けの健康プロモーション映像を制作
 【地方創生関係交付金活用事業】

●「健康長寿」ブランドの国際展開による世界への貢献

- ・平成30年度実績
 平成29年度に制作した健康長寿プロモーション映像及びパンフレットの多言語版を制作 (タイ、ベトナム、マレー語) JICA、JETRO等へ市長が訪問し、佐久市の「健康長寿」の取り組みについてPRを実施
 タイ国のバンセン・ヘルスフェスティバルに市内の大学、病院、企業とともに参加し、佐久市のブースにおいて佐久市の保健予防・高齢者ケアの取り組みや関連製品等についてPRを実施
 「保健・医療のつばさ事業」において、佐久市、国保浅間総合病院、佐久総合病院、佐久大学の4者の連携により、海外視察研修者の受入を実施するとともに、連携方法等について検証を適宜実施

・平成29年度実績

平成28年度に制作した健康長寿プロモーションビデオに、高齢者福祉事業と佐久市内のヘルスケア産業部分を追加した改訂版を制作し、加えて映像をベースとしたパンフレットを制作(日本語版、英語版、中国語版)
平成28年度の健康長寿要因等調査の追加調査を実施し、健康長寿に関係したデータを収集、整理し、また市民アンケート調査を行い、健康長寿のまちとして対外的にPRできるデータのとりまとめを実施
「保健・医療のつばさ事業」における海外からの視察研修者の受入れを実施
佐久市、国保浅間総合病院、佐久総合病院、佐久大学の4者の連携により、海外視察研修者の受入を実施するとともに、連携方法等について検証を適宜実施

＊視察受入れ延べ人数(受入人数×滞在日数)

平成28年度:延べ402人 平成29年度:延べ1,286人 平成30年度:延べ2,061人

●ライフステージに応じた健康づくり

・市民モニター180名を対象にセンサーによる歩行姿勢の計測・運動指導を実施し、市民の健康増進への活用を調査
【地方創生関係交付金活用事業】

●健康長寿関連産業の活性化を推進

・佐久産業支援センターが、健康長寿関連産業の振興に向け、「医療」「ものづくり」「教育」の現場をつなぎ、価値創造型商品・サービスの開発や事業化を目指すプレメディカルケア産業開発支援プロジェクトを開始
【地方創生関係交付金活用事業】

＊ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発

平成30年度実績 開発件数:6件

- ・プレパラート自動染色・封入ユニットシステム(病理検査で使用する医療機器)量産機の開発
(事業主体:㈱システム・ワン、㈱ナノシード)
- ・ナノ技術を活用した除菌・消臭液放出機の開発(空間の除菌・消臭等を行う装置)の業務用大型機の開発
(事業主体:㈱ナノシード、㈱システム・ワン)
- ・歯周ポケット計測器「パム」の開発
(事業主体:㈱ナルコム)
- ・撥水・防かびチェアクッション(座面)の開発
(事業主体:㈱ケーアンドケーメディカル)
- ・片足で立った時の安定度を数値化する計測器「バランスチェッカー」の開発
(事業主体:佐久ものづくり研究会(佐久商工会議所))
- ・ウォーキングボール等のボールへのインクジェット印刷システムの開発
(事業主体:㈱シナノ)

(平成29年度実績 開発件数:0件)

(平成28年度実績 開発件数:2件)

- ・プレパラート自動染色・封入システムユニット(病理検査で使用する医療機器)の開発
(事業主体:㈱システム・ワン、㈱イオジェネサポート)
- ・ナノ化技術を使用したディフューザー(空間の除菌・消臭等を行う装置)の開発
(事業主体:㈱イオジェネサポート、㈱システム・ワン、㈱カウベルエンジニアリング)

(2) 首都圏等からの人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策

ア 新規就農・就業の促進

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
新規就農者数(計画期 間の累計) 【農政課調】	目安値		6	12	18	24	30	人
	実績値	—	6	11	20	26		
	進捗区分		順調	概ね順調	順調	順調		

進捗状況の分析	新規就農支援策の充実により、H30も目安値を上回り順調に推移し、前年度と比較した増加幅も拡大しています。
今後の方針	支援策の周知を徹底し、新規就農者のさらなる増加を図ります。

主な成果	
●新規就農者及び農業後継者の定着のための経費補助 ・国等の給付金の対象とならない新規就農者、農業後継者に対する市単独の補助金を新設 平成30年度実績 補助金交付件数、金額： 5件、1,000,000円 （平成29年度実績 補助金交付件数、金額： 4件、1,600,000円） （平成28年度実績 補助金交付件数、金額： 3件、1,900,000円）	
●新規就農希望者研修制度の構築 ・新規就農者を受け入れ、経営継承を目指す高齢農家に対する研修経費に係る補助金を新設 平成30年度実績 相談件数： 1件 （平成29年度実績 相談件数： 2件） （平成28年度実績 相談件数： 2件）	
●UIJターンによる新規就農希望者への情報発信及び定着支援 ・就農相談会での情報発信等により、新規就農希望者の就農を総合的に支援 平成30年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数：10回、23人 首都圏就農相談会の参加： 2回 （平成29年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数：12回、26人 首都圏就農相談会の参加： 3回） （平成28年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数： 8回、16人 首都圏就農相談会の参加： 1回）	

イ 技能・知識の獲得の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
資格取得支援事業による資格取得件数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	件	
	実績値	—	1	2	3	4			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	市内企業へのPRを実施しているものの、依然として利用が少ない状況であり、ニーズと制度に乖離があると考えられます。								
今後の方針	本補助制度がR元年度末で終了となることから、これまでの利用状況やニーズを検証したうえ、より効果的な新たな支援の手法について検討を進めていきます。								

主な成果	
●商工業者の技能養成にかかる経費への補助 平成30年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数：10人） （平成29年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数：26人）） （平成28年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数：41人））	
●従業員及び内定者の資格取得の経費への補助 平成30年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 0名、不合格者数 1名） （平成29年度実績 補助金を交付した企業数 1社（合格者数 1名、不合格者数 0名）） （平成28年度実績 補助金を交付した企業数 2社（合格者数 1名、不合格者数 1名））	

ウ 多様な人材の雇用促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
移住者雇用対策事業 による移住者雇用件数 (計画期間の累計)	目安値		3	6	9	12	15	件
	実績値	—	1	5	14	17		
	進捗区分		努力を要する	概ね順調	順調	順調		
【商工振興課調】								
進捗状況の分析	H27から始まった事業ですが、制度の普及により、H30は目安値を上回り順調となっています。							
今後の方針	引き続き、事業の周知により、移住者雇用件数の増加を図ります。							
指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
障がい者実雇用率	目安値		2.00	2.03	2.05	2.07	2.10	%
	実績値	1.92	1.65	1.78	1.94	—		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	未公表		
【長野労働局調】								
進捗状況の分析	目安値には至っていないものの、理解促進の取組により実績値は上昇傾向にあります。市内相談支援事業所等と連携し、障がい者の就労に係る相談支援事業に取り組みます。 ※H30実績値は、R元年8月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。							
今後の方針	引き続き、事業主のための障がい者雇用支援制度の情報提供等、企業や職場の「障がい者の就労」に対する理解の普及・啓発に努めます。							

主な成果

●移住者の雇用に対する補助の実施

- 平成30年度実績 補助金を交付した企業数 3社（移住者数 3名）
（平成29年度実績 補助金を交付した企業数 8社（移住者数 9名））
（平成28年度実績 補助金を交付した企業数 4社（移住者数 4名））

●障がい者への相談支援体制の充実

- ・働く意欲のある障がい者が就労、さらには雇用の場で定着できるように、市内相談支援事業所及び佐久広域連合障害者相談支援センターと連携し、相談支援に取り組む。

（３）ＩＣＴ等の利活用による地域産業の活性化

ア 民間企業等のＩＣＴ活用による効率化と付加価値向上の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
テレワーク施設の設置・運営 補助による事業所の立地件 数及びテレワーク拠点施設 におけるサテライトオフィス 契約企業数(計画期間の累 計)	目安値		1	2	3	4	5	件
	実績値	—	0	0	0	1		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する		
【商工振興課調】								
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、1件は誘致できたものの、全体として目安値には届いていない状況です。							
今後の方針	情報通信技術の発達により、R2の東京オリンピック時における首都圏の混雑緩和や企業における働き方改革の推進の動きなどにより、企業のサテライトオフィス設置のニーズは高まっていることから、市の情報センターをテレワーク拠点施設として改修するとともに、企業が空き事務所等を利用してテレワーク施設(サテライトオフィス含む)を設置する際の補助金を拡充することにより、サテライトオフィスの立地促進を図ります。							

主な成果

●企業訪問による誘致活動の実施

平成30年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 14件
(平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件)
(平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の社会動態に着目して考えれば、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新しい人の流れづくりに取り組みます。
----------	--

数値目標の進捗状況								
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
人口の社会増 (計画期間の累計) 【長野県毎月人口異動調査】	目安値		200	400	600	800	1,000	人
	実績値	－	246	407	656	982		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調		
総合分析	基本目標②の数値目標である「人口の社会増(転入者数－転出者数)」は、H30は326人の社会増となり、目安値を上回り、順調に推移しています。またH29に比べ、増加幅も拡大しています。 (H30：転入者数 3,678人－転出者数 3,352人＝326人) (H29：転入者数 3,606人－転出者数 3,357人＝249人) (H28：転入者数 3,499人－転出者数 3,338人＝161人) 佐久市に「住んでみたい」「住み続けたい」と感じてもらうためにも、高速交通網の充実や医療福祉の充実等の佐久市の卓越性を国内外へ発信する等、多くの人が集う魅力あふれるまちづくりに資する取組の推進が重要です。 H30における基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、11項目のうち、「順調」が2項目、「努力を要する」が6項目となりました。							
今後の方針	「努力を要する」となったKPIは、「新たな企業等の立地件数」などでした。新たな企業等の立地件数は、目安値の達成には至らなかったものの、H30は1件の誘致に成功しています。 引き続き、佐久市シティブロモーション事業や無料職業紹介事業(さくさくワーク)を推進し、R元年度は新規事業として県が窓口となり進める佐久市UIJターン就業・創業移住支援事業に取り組むなど、今後も新しい人の流れづくりに向け庁内外の連携を図りながら各施策を進めていきます。							

(1) 移住・交流の促進

ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位
市ホームページでのP R動画再生件数 【広報情報課調】 ※H27動画公開開始	目安値		230	460	690	920	1,150	件/月
	実績値	—	308	801	1,439	1,171		
	進捗区分		順調	順調	順調	順調		
進捗状況の分析	掲載動画の充実を図っていますが、前年度に比べ再生数は減少しています。 動画の内容、時期(話題性)により、再生数に差が生じると考えられます。							
今後の方針	新しい動画の充実に努めるとともに、時宜に応じて既存動画も含めたPRを行っていきます。							

主な成果

●佐久市の人・街・食・環境等の情報の発信

- ・FMラジオにより、定期コーナー及びイベントと連動した出張放送を実施
- 佐久市の人・街・食・環境や佐久市が取り組む地域活動などを全国へ発信

＊放送実績

平成30年度実績 定期コーナー放送10回・公開収録イベント1回・首都圏テレビ天気予報映像12回
 (平成29年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回)
 (平成28年度実績 定期コーナー放送18回・公開収録イベント2回)

●観光客・移住者増のためのPRの実施

・市の情報をホームページで動画配信することにより、市内外の方々に佐久市の魅力を効果的に発信

イ 移住定住促進のための体験機会の提供と経済的支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
空き家バンク登録物件 の契約成立件数 【移住交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年	
	実績値	45	75	70	39	34			
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	空き家バンクへの掲載物件の減少に伴い契約成立件数が伸び悩んでおり、物件の掘りおこしが必要です。								
今後の方針	空き家バンクへの登録件数自体が減少していることから、宅建協会や建築住宅課との連携を深め、物件の掘り起こしを進めます。また、多様な移住希望者のニーズに応え、新たに別荘物件や要改修物件等を紹介します。併せて今まで以上に空き家バンク制度のPRを行い、物件の確保に努めます。								

主な成果

●移住定住推進施設の管理

・移住体験住宅を管理し、佐久市での生活体験を実施

＊移住体験住宅 利用実績(判明分に限る)

平成30年度実績 利用世帯数 19世帯 うち佐久市へ移住した世帯数 0世帯
 (平成29年度実績 利用世帯数 25世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 4世帯)
 (平成28年度実績 利用世帯数 32世帯 うち佐久市へ定住した世帯数 6世帯)

●移住促進サポートプラン(移住促進住宅取得費等補助金の交付)

・佐久市に移住し、住宅の新築若しくは中古住宅を購入した者に対し補助金を交付

※H29からハウスクリーニングに係る補助の新設、移住促進住宅取得費等補助金のメニューの見直し(中学生以下の扶養する子と同居する場合、一律10万円の加算を一人当たり10万円の加算へ変更)を行う。

＊移住促進住宅取得費等補助金

平成30年度実績 40世帯
 (平成29年度実績 22世帯)
 (平成28年度実績 35世帯)

ウ 地域おこし協力隊の導入

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
活動後に移住する地域 おこし協力隊員の率 【企画課調】	目安値		－	－	－	60.0	%	
	実績値	－	－	－	0.0			
	進捗区分		実績値なし	実績値なし	努力を要する			
進捗状況の分析	H28から導入し、H30は9名の隊員が活動しています。任期は最長で3年となりますが、2名の隊員が3年間を待たずに一身上の都合で退任し、佐久を離れており現状では実績値は0%となっています。							
今後の方針	活動地域への定住・定着が図れるよう、隊員の起業化支援に努めます。 (H30末で任期を終了した4名の隊員は、佐久市に定住予定です。)							

主な成果

●地域おこし協力隊により地域の活性化を推進

＊地域おこし協力隊導入状況（平成31年3月31日現在）

・平成28年4月1日委嘱 4名

	活動地域	活動内容
隊員①	臼田地域	健康メニュー・商品開発と地域の賑わいの創出等
隊員②	浅科地域	伝統的地場産業の担い手育成等
隊員③	望月地域	工芸・民芸・書などの特産品等の開発等
隊員④	望月地域	小さな物流システムの構築支援等

隊員①～④は、平成31年3月31日で3年間の任期を満了

・平成28年8月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑤	臼田地域	生涯活躍のまち（日本版CCRC）の事業化のコーディネート等

隊員⑤は、平成30年7月31日で2年間の任期を満了（3年目の延長は、隊員の一身上の都合により行わず）

・平成29年7月1日委嘱 3名

	活動地域	活動内容
隊員⑥	佐久全域	新規就農希望者の募集とサポート
隊員⑦	望月地域	中山道望月宿を中心とした地域おこし
隊員⑧	望月地域	荒廃農地の再生による地域おこし

隊員⑦は、平成30年3月31日で隊員の一身上の都合により退職

・平成29年11月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑨	佐久全域	道の駅「ヘルシーテラス佐久南」による農業振興

・平成30年4月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑩	望月地域	食による地域おこし

エ 生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
生涯活躍のまち(日本版CCRC)構築による市外からの移住者数(計画期間の累計) 【移住交流推進課調】	目安値		－	－	－	－	50	人	
	実績値	－	－	－	－	－			
	進捗区分		実績値なし	実績値なし	実績値なし	実績値なし			
	生涯活躍のまちの構築に向けた準備段階のため、H30は「実績値なし」となります。								
今後の方針	R元年のサービス付き高齢者向け住宅の入居開始にあわせ、地域再生協議会を設立し、国で定められている形成事業計画を策定する等、生涯活躍のまちの推進を図ります。								

主な成果

●生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築

・移住の動機付けにも必要となる地域の魅力づくりに向けた事業を推進

＊佐久市への移住お試しツアー

平成30年度実績 2回開催 22名参加

（平成29年度実績 2回開催 17名参加）

（平成28年度実績 1回開催 4名参加）

※ 移住促進センターにおける相談件数

平成30年度実績 124件

(平成29年度実績 100件)

(平成28年度実績 155件)

【地方創生関係交付金活用事業】

(2) 企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大

ア 企業や政府関係機関の誘致

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
新たな企業等の立地件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】 ※サテライトオフィスの立地を含む	目安値		2	4	6	8	10	件	
	実績値	－	1	2	3	5			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	H29に企業へ十二川原工業団地用地を売却して以降、市所有の事業用地がない中で、民間所有物件への企業誘致に成功しています。また、企業における働き方改革の推進の動きなどにより、企業のサテライトオフィス設置のニーズが高まっている中で、H30に1件のサテライトオフィスの誘致に成功しました。								
今後の方針	佐久臼田IC周辺への工業用地の整備を進めるとともに、引き続き民間所有物件への企業誘致を推進するほか、サテライトオフィス含むテレワーク施設を設置する際の補助金を拡充することにより、サテライトオフィスの立地促進を図ります。								

主な成果

●平成28年度 1社、平成29年度 1社、平成30年度 2社の企業誘致に成功

平成30年度…(株)クリプト・フィナンシャル・システム(本社:東京都新宿区・情報サービス業)、
(株)はたらクリエイト(本社:上田市・情報サービス業・サテライトオフィス)立地

(平成29年度…日精エー・エス・ビー機械(株)(本社:小諸市・プラスチックボトル生産機製造販売)立地)

(平成28年度…三河田工業団地ヘシチズンマシナリー(株)(本社:北佐久郡御代田町・NC旋盤等の製造販売)立地)

●市外から佐久市内へ立地する企業に対する補助

・工場等用地取得に要する経費に対する補助

平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件)

(平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:0件)

(平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))

・工場等の建物・償却資産の固定資産税相当額を補助

平成30年度実績 平成30年度から補助金の交付を開始した件数:1件(内訳:リスク分散1件)

(平成29年度実績 平成29年度から補助金の交付を開始した件数:2件(内訳:リスク分散2件))

(平成28年度実績 平成28年度から補助金の交付を開始した件数:1件(内訳:リスク分散1件))

●産業立地推進員の訪問実績

・産業立地推進員を2名配置(東京・大阪)し、企業訪問により誘致活動を推進

平成30年度実績 728件

(平成29年度実績 799件)

(平成28年度実績 770件)

イ 遠隔地勤務等の新たな事業所立地の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
サテライトオフィス設置支援事業による事業所の立地件数(計画期間の累計)	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲
	実績値	—	0	0	0	1			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、1件は誘致できたものの、全体として目安値には届いていない状況です。								
今後の方針	情報通信技術の発達はもとより、R2の東京オリンピック時における首都圏の混雑緩和や企業における働き方改革の推進の動きなどにより、企業のサテライトオフィス設置のニーズは高まっていることから、市の情報センターをテレワーク拠点施設として改修するとともに、企業が空き事務所等を利用してテレワーク施設(サテライトオフィス含む。)を設置する際の補助金を拡充することにより、サテライトオフィスの立地促進を図ります。								

主な成果

●企業訪問による誘致活動の実施

- 平成30年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 14件
(平成29年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 16件)
(平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件)

ウ 就職支援員による就職相談及び職業紹介

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H30	R1 (目標値)	単位	
無料職業紹介事業(地方版ハローワーク)により紹介した求職者を市内企業が採用した人数(計画期間の累計)	目安値		10	30	人	
	実績値	—	11			
	進捗区分		順調			
【商工振興課調】						
進捗状況の分析	H30から始まった事業ですが、市ホームページや広報誌の掲載による制度の普及により、目標値を上回り順調となっています。					
今後の方針	就職支援員による企業訪問や学校訪問、市ホームページや広報紙へ掲載により、事業の周知を図ります。					

(3) 若者の市内企業への就職促進と人材育成

ア 地元出身学生の定着・Uターンの促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H29	H30	R1 (目標値)	単位
佐久市奨学金の償還の一部免除要件を満たし市内に在住している者の数(計画期間の累計)	目安値		13	26	40	人
	実績値	—	13	24		
	進捗区分		順調	概ね順調		
【学校教育課調】						
進捗状況の分析	H30実績値は償還開始者数の減少もあり目標値に達していない結果となりました。全国的な労働力需要の高さにより、償還の一部免除要件となる本市へ戻っての就労に結びついていないと考えられます。目標値の達成に向けて制度の周知や、地元企業の紹介について強化する必要があります。					
今後の方針	就職活動開始前の奨学生(大学3年生)に対し、重点的に制度の周知を図ります。					

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
インターンシップ実習生 を市内企業が採用する 人数(計画期間の累 計)	目安値		2	4	6	8	10	人	
	実績値	－	1	3	5	－			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	概ね順調	未公表			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	H29末実績値は累計5人で努力を要する結果となりましたが、インターンシップ実習生が受け入れた市内企業の採用試験に申し込まないこともあるためと考えられます。 ※H30実績値はR2年4月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	市内企業のPRの機会や将来の技術者の確保のきっかけとして、インターンシップに係る補助制度を利用してもらうことにより、首都圏等の学生の市内企業への就職の可能性が広がることから、引き続き事業の周知に努めます。								

主な成果

●佐久市奨学金の一部免除

- 平成29年度以降、新たに奨学金を償還する者のうち、償還期間中市内に居住し、かつ就職している者に1/3以内で償還金を免除
平成30年度実績 償還開始26件のうち、11件を免除
(平成29年度実績 償還開始29件のうち、13件を免除)

●若者の市内企業への就職促進

- インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し、補助金を交付
平成30年度実績 受入れ企業数:3社(参加学生数:24名。うち市内企業への就職者数: 未公表)
(平成29年度実績 受入れ企業数:7社(参加学生数:11名。うち市内企業への就職者数: 2名))
(平成28年度実績 受入れ企業数:8社(参加学生数:17名。うち市内企業への就職者数: 2名))
- インターンシップ事業に参加する学生の交通費及び宿泊費に対し、補助金を交付
平成30年度実績 上記参加学生24名のうち、補助利用者19名
(平成29年度実績 上記参加学生11名のうち、補助利用者 1名)
(平成28年度実績 上記参加学生17名のうち、補助利用者 3名)

イ 学生等への市内企業のPR支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
イベント・見学会参加企業への就職者数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	人	
	実績値	—	1	8	22	29			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	就職者数が目安値に達していないものの、就職者数は増加傾向にあります。イベント参加者数は年々増加していることから、今後もより多くの学生等に参加してもらえるよう、イベントの周知を強化する必要があります。								
今後の方針	就職までつながる件数は少ない状況ですが、市内企業を多くの学生等知ってもらうためのPRの場は必要と考えられるため、より多くの学生等に参加してもらえるよう開催方法等を検討するとともに、引き続き事業の周知に努めます。 また、地元開催の就職説明会・面接会等についても、引き続き事業の周知に努めます。								

主な成果

●就職支援員による大学等への訪問

- 就職支援員 1名
平成30年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 4校 計23校
(平成29年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・諏訪・茅野地区 4校、高崎・前橋地区 7校、甲府・大月・都留地区 4校 計24校)
(平成28年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校 計19校)

●市内企業のPRイベント(面接会等)の開催

平成30年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:25名 内就職者数:未公表
 (市内)開催回数:1回 参加者数:32名 内就職者数:7名
 (佐久地域)参加者数:73名 内内定者数:未公表
 (平成29年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:15名 内就職者数:4名
 (市内)開催回数:1回 参加者数:77名 内就職者数:10名
 (佐久地域)参加者数:125名 内内定者数:未公表)
 (平成28年度実績 (東京)開催回数:1回 参加者数:6名 内就職者数:0名
 (市内)開催回数:1回 参加者数:35名 内就職者数:7名
 (佐久地域)参加者数:112名 内内定者数:21名)

ウ 地域産業を担う人材の育成支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
佐久大学・佐久大学信州短期大学部からの地元企業等への就職者数	目安値		49	54	60	65	70	人/年	
	実績値	36	30	16	18	17			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
【佐久大学・佐久大学信州短期大学部調】									
進捗状況の分析	地元企業等への就職者数は減少傾向となっています。市外出身者は地元へ戻っての就職が多く、市内出身者の県外就職もあることが考えられます。								
今後の方針	実習の受け入れ等により、地域の医療・福祉産業の活性化とそれを担う人材の育成と、学生と共同事業者の顔の見える関係の構築に努めます。また、大学との連携により、地域出身学生の優先受入や、佐久地域固有のケア学の講義の実施等を検討します。								

主な成果

●地元大学等との連携強化

- 平成26年8月に佐久大学・佐久大学信州短期大学部と包括連携協定を締結
- 佐久大学生の佐久市への実習の受け入れ
 - 健康づくり推進課:看護総合実習、地域看護実習
 - 高齢者福祉課:地域看護実習
 - 浅間総合病院:看護学実習等
 - みすず苑:老年看護学実習 他
- 佐久大学への講師派遣
 - 浅間総合病院:医師、看護師を講師として派遣
 - 健康づくり推進課:保健師、栄養士、歯科衛生士を講師として派遣 他
- 佐久大学短期大学部学生の佐久市への実習受け入れ
 - シルバーランドみつゝい・きしの:介護施設実習

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の自然動態に着目して考えれば、たくさんの子どもの生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生み育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。
----------	---

数値目標の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
合計特殊出生率 【健康づくり推進課調】	目安値		1.61	1.63	1.65	1.67	1.69	—
	実績値	1.59	1.52	1.55	1.61	—		
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	未公表		
総合分析	基本目標③の数値目標は国の基幹統計調査に基づき算出をしています。H30はR元年10月頃に把握が可能となる予定で、実績値を把握することができないことから、「未公表」となります。 「合計特殊出生率」は、H29実績値は目安値を下回る結果となったものの、前年度と比較し0.06ポイント上昇しました。年齢階級別女子人口を前年度と比較すると、出産可能年齢層(15～49歳)は全体的に減少しています。 一方、出生数は増加しており、特に「25～29歳」「30～34歳」の出生率が前年度と比較し、増加の割合が大きくなっています。 H29における基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、20項目のうち、「順調」が13項目、「努力を要する」が7項目でした。							
今後の方針	KPI「第3子以降の出生数」は「努力を要する」結果となりました。今後予定されている保育料無償化を最大限生かしながら、関連施策を強力に推進する必要があります。 出生率の向上には、結婚、出産、子育て、教育、住環境等、幅広い分野での対策が必要となります。このことから、健康づくり、福祉、子育て支援、教育、まちづくり等の関係分野で連携を深め、これまでの取組を着実に推進するとともに、R元年からは、月1回実施していた妊婦さんの歯の教室での歯科健診を、市内歯科医院等での歯科健診への移行や、産後の初期段階での健診の充実による産後鬱のケアの推進、ニーズが増加する未満児保育所の整備促進等、子育て支援の更なる充実を図ります。							

(1) 若い世代の経済的安定

ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
雇用対策事業補助金 による新規雇用者数 （計画期間の累計）	目安値		39	78	117	156	195	人	
	実績値	－	43	92	122	－	－		
	進捗区分		順調	順調	順調	検証終了			
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	雇用対策事業補助金の利用促進により、補助を活用した新規雇用者数は順調に推移しています。								
今後の方針	新規雇用者数は順調に推移していますが、新規学卒者に対する当該補助はH29までの時限措置であるため、終了しました。当該施策は地方創生の実現に一定の効果が認められたと考えることから、本指標はH29で検証終了とし、H30以降は、基本目標②(2)ウの「無料職業紹介事業（地方版ハローワーク）」により紹介した求職者を市内企業が採用した人数により、雇用の安定に対する効果を検証します。なお、それに合わせ、KPI追加のため総合戦略の改訂を行います。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
第3子以降の出生数 【子育て支援課調】	目安値		123	130	137	144	150	人/年	
	実績値	116	133	142	143	118			
	進捗区分		順調	順調	順調	努力を要する			
進捗状況の分析	第3子以降の保育料無償化等の子育て支援施策によって、これまでは大幅に出生数を伸ばしてきましたが、全体として出生数が減少する中で、特に第3子以降の出生数については目安値に届かない結果となりました。しかし、H30実績値を見ると基準値は上回っており、継続して実施してきた事業の効果は着実に成果として現れていると考えられます。								
今後の方針	子育て世代のニーズに応じたサービスの提供に努め、出生数の向上を図ります。								

主な成果

●新規学卒者及び離職者の雇用に対する補助金の交付(平成29年度で終了)

- ・新規学卒者を1年以上雇用した中小企業等の事業主に対し、補助金を交付
(平成29年度実績 13社 30件(新規学卒者:30名))
(平成28年度実績 26社 49件(新規学卒者:46名、離職者 3名))

●保育料の負担軽減

- ・同一生計の兄弟の年齢などに関係なく、第3子以降の保育園・幼稚園保育料を無料化
平成30年度実績 対象児童数 518人
(平成29年度実績 対象児童数 473人)
(平成28年度実績 対象児童数 374人)

●子ども福祉医療費給付金の支給対象年齢の拡大

- ・これまで中学校修了前としていた子どもの福祉医療費給付金支給対象年齢を、満18歳の年度末まで拡大
平成30年度実績 対象者15,054人(うち、拡大分2,456人)
(平成29年度実績 対象者14,303人(うち、拡大分1,950人))

イ ひとり親家庭・生活困窮者等の自立支援

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別 評価		— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
自立支援教育訓練給付事業による資格取得件数(計画期間の累計)	目安値			3	6	9	12	15	件	
	実績値	—		0	1	1	3			
	進捗区分			努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析		広報や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状があります。								
今後の方針		佐久市母子寡婦福祉会とも連携するなど、利用者の増加に繋がります。								

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
高等学校卒業程度認定試験合格支援給付事業の活用件数(計画期間の累計)	目安値		5	10	15	20	件	
	実績値	—	0	0	0			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析		広報や窓口等において事業の周知を図っていますが、利用につながらない現状があります。						
今後の方針		佐久市母子寡婦福祉会とも連携するなど、利用者の増加に繋がります。						

主な成果

●ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため資金貸付の実施

- ・ひとり親家庭の経済的自立、福祉増進を図るため、県の貸付制度の相談及び申請窓口事務を実施

平成30年度実績 貸付件数 18件
 (平成29年度実績 貸付件数 10件)
 (平成28年度実績 貸付件数 9件)

●ひとり親家庭等の保護者への教育訓練講座受講費への補助

- ・ひとり親家庭の親が、就労に必要な教育訓練講座を受講した場合、指定講座の修了者に給付金を支給
 平成30年度実績 3件
 (平成29年度実績 1件)
 (平成28年度実績 1件)

●ひとり親家庭の保護者の就職のための高等技能促進費の支給

- ・ひとり親家庭の親が、看護師等の経済的な自立に効果的な資格を取得するために1年以上の養成機関等で修学する場合に訓練促進費を支給
 平成30年度実績 延 45件
 (平成29年度実績 延 47件)
 (平成28年度実績 延 44件)

●ひとり親家庭の親の学び直しへの支援

- ・ひとり親家庭の親又はその子が高等学校卒業程度認定試験の合格を目指し講座を受講する場合、受講料の一部を補助
 平成30年度実績 0件
 (平成29年度実績 0件)
 (平成28年度実績 0件)

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

ア 恋愛・結婚の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
イベント参加者の成婚 数(計画期間の累計) 【福祉課調】	目安値		0	5	10	20	組	
	実績値	－	0	1	7			
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	目安値は達成出来ませんでしたが、H28からH30に開催したイベントで出会った男女7組が婚約または成婚に至りました。出会いから成婚に至るまでは一定の時間を要すると思われますが、徐々に成果が出てきています。 【参考:その年に開催したイベントで出会った男女の成婚数】 H28:2組 H29:4組 H30:1組							
今後の方針	R元年においては、恋愛や結婚に結びつくような出会いの機会を創出するイベントを開催し、成婚数の増加に努めます。また、参加者に実績把握(事後アンケート等)への協力を求めています。							

主な成果

●佐久市結婚支援事業「SAKU♡恋」の開催

- ・未婚の若者を対象に、恋愛や結婚に関するイベントを開催
 平成30年度実績 4回のイベント(婚活パーティー)を開催
 参加者 119人(婚活パーティー 119人(うち、カップル成立 14組))
 累計成婚数7組
 (平成29年度実績 4回のイベント(婚活パーティー)を開催
 参加者 137人(婚活パーティー 137人(うち、カップル成立 21組))
 累計成婚数 1組)
 (平成28年度実績 7種18回のイベントを開催
 参加者 445人(講座等 263人、出会いパーティ 182人(うち、カップル成立 23組)))

イ 安心して出産を迎えるための支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
出産を迎えるための佐久市の支援に対する満足度	目安値		－	50.0	50.0	50.0	50.0	%	
	実績値	－	－	80.4	83.6	84.0			
	進捗区分		実績値なし	順調	順調	順調			
【健康づくり推進課調】									
進捗状況の分析	各種施策の推進により満足度は目安値を超え、前年度よりも上昇し順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き、「こんにちは赤ちゃん事業」での調査を進め、満足度の維持を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
浅間総合病院における 出産件数	目安値		710	720	730	740	750	件/年	
	実績値	609	709	636	590	500			
	進捗区分		概ね順調	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
【浅間総合病院総務課調】									
進捗状況の分析	産婦人科常勤医師が退職することに伴い、分娩（予約）件数を減少させる必要がありました。								
今後の方針	出産に携わる医師及び医療スタッフの確保に取り組むとともに、産婦人科医師の負担軽減のため業務分担の見直しを推進します。								

主な成果	
●不妊治療及び不育症に要する保険診療適用外の治療費の一部助成 ＊コウノトリ支援事業補助金 平成30年度実績 交付者 129組（うち、妊娠45組 出生24組） （平成29年度実績 交付者 132組（うち、妊娠57組 出生38組）） （平成28年度実績 交付者 130組（うち、妊娠55組 出生41組）） ●妊娠・出産・育児の知識を提供する「パパママ教室」の開催 ・妊娠4ヶ月から8ヶ月の妊婦とその家族を対象とした講座を開催 ＊パパママ教室 平成30年度実績 実施回数 30回、延参加者数 719人 （平成29年度実績 実施回数 30回、延参加者数 723人） （平成28年度実績 実施回数 30回、延参加者数 686人） ●妊婦さんの歯の教室の開催 ・妊婦を対象とした歯科健診や歯科指導を実施することで、妊婦と生まれてくる子どもの口腔の健康づくりを推進する。 平成30年度実績 12回開催 参加者数 107人 （平成29年度実績 12回開催 参加者数 105人） （平成28年度実績 12回開催 参加者数 93人） ●「ライフデザイン」講座の開催 ・市内中学生、高校生、大学生を対象に、本人の身体づくりや妊娠適齢期、出産適齢期を理解していただくための講座を開催 ＊活動の状況 平成30年度実績 高校 1回 大学 2回 （平成29年度実績 高校 1回 大学 2回） （平成28年度実績 中学校 1回 高校 1回 大学 2回）	

●長野県外での妊婦一般健康診査受診者への助成金交付

＊妊婦一般健康診査県外受診費用補助金

平成30年度実績 1,395,200円

(平成29年度実績 1,422,230円)

(平成28年度実績 1,501,488円)

●妊産婦に対する医療費の助成

・早期の適切な受療と医療費負担の軽減を図るため、妊産婦に対し福祉医療費給付金を支給

＊ブレママ医療給付金

平成30年度実績 1,110人支給

(平成29年度実績 1,139人支給)

(平成28年度実績 838人支給)

●浅間総合病院における快適で魅力ある出産環境の整備

・出産後の良好な経過を目的に、下肢へのアロマテラピーマッサージを実施。アロマテラピーマッサージが受けられることを理由に浅間総合病院での分娩を希望する方も出ている。

・両親学級の実施 分娩の流れと出産時における奥さんへの配慮を旦那さんに学んでいただく教室 毎月3回実施

・母乳学級の実施 出産後、上手に母乳育児が出るための教室 毎月1回実施

●入院助産ができない妊産婦への支援

・保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産ができない妊産婦に対して、妊娠、出産の適正時期に助産施設への入所を支援

平成30年度実績 1件

(平成29年度実績 2件)

(平成28年度実績 2件)

(3) 子ども・子育て支援の充実

ア 乳幼児の心身の健康な育ちの支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	※乳幼児健診の 受診及び未受診 者への訪問等による 支援により、 適切な時期に子 どもの発育や発 達の確認ができた 保護者の割合
適切な時期に子どもの 発育や発達の確認がで きた保護者の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		100	100	100	100	100	%	
	実績値	100	100	100	100	100			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	高い健診の受診率を保ちながら、未受診者については電話連絡や訪問等により確認をしています。 【参考:受診率】 H30:4か月児健診99.0% 10か月児健診98.2% 1歳6か月児健診98.0% 3歳児健診98.4%								
今後の方針	引き続き、事業の推進により、現状値の維持を図ります。								
指標名	年度別 評価	H28 (基準値)	H29	H30	R1 (目標値)	単位			
おたふくかぜワクチン の任意接種費用助成 事業を利用する1歳児 の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		85	87	90	%			
	実績値	—	96	94					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	広報や健診時などの周知や個別接種実施医療機関の協力により、目安値以上の実績を得ることができました。								
今後の方針	事業の周知を継続し、一層の利用者の増加を図ります。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	※縄跳び、 マット運動、 鉄棒などの 運動が好き になって自発 的に運動す る年長児童 の割合
園や家庭で、自発的に 運動をする年長児童の 割合	目安値		50	55	60	65	70	%	
	実績値	—	65	68	75	82			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
【子育て支援課調】									
進捗状況の分析	保育に運動あそびプログラムを取り入れていることにより運動が身近なものとなり、順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き、運動あそびプログラムを取り入れた保育を推進します。								

主な成果

●乳幼児学級の実施

- ・乳幼児の親子に対する体験・学習等(リズム体操、ミニ運動会等)の教室を市内各地で実施

平成30年度実績 56回開催 延参加者数 1,948人

(平成29年度実績 56回開催 延参加者数 2,136人)

(平成28年度実績 56回開催 延参加者数 1,848人)

●「こんには赤ちゃん事業」の実施

- ・乳児の健やかな発育・発達のため、生後4か月までの全乳児とその家族に対し、保健師・助産師が訪問指導を実施

平成30年度実績 訪問件数 726件

(平成29年度実績 訪問件数 764件)

(平成28年度実績 訪問件数 753件)

●乳幼児健康診査の実施

- ・母子保健法に基づき、乳児(4か月児、10か月児)の健康診査と、幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康診査及び歯科健康診査を実施。7か月児健康診査は、県内医療機関にて個別健診を実施

平成30年度実績

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	755	741	761	742	761
受診率	99.0	86.5	98.2	98.0	98.4

(平成29年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	755	722	757	801	819
受診率	99.3	86.3	98.3	99.5	99.4

(平成28年度実績)

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	767	727	764	716	825
受診率	97.6	85.5	98.2	98.5	98.4

●2歳児歯っぴー教室の開催

- ・3歳児のむし歯を減らすため、2歳2か月児・3か月児とその保護者を対象として、歯科健診や歯科指導、フッ素塗布等を実施

平成30年度実績 12回開催 参加者数 557人(うち、2歳児 272人)

(平成29年度実績 12回開催 参加者数 474人(うち、2歳児 233人))

(平成28年度実績 12回開催 参加組数 473人(うち、2歳児 231人))

●年長児フッ素洗口事業の実施

- ・永久歯のむし歯予防の効果を高めるため、小中学生を対象に実施しているフッ素洗口事業を保育園・幼稚園の年長児まで対象を拡大し実施

平成30年度実績 公立保育園15園 私立保育園7園 幼稚園5園 計27園

●「子育てママさん訪問事業」(養育支援訪問事業)の実施

- ・育児支援が必要な家庭に対し、保健師・助産師が継続して支援を実施

平成30年度実績 120件

(平成29年度実績 184件)

(平成28年度実績 159件)

●おたふくかぜワクチンの任意接種費用の一部助成

・おたふくかぜのまん延防止の為、おたふくかぜワクチン任意接種を希望する1歳児に対し、接種費用の一部を助成

平成30年度実績 助成を利用した接種者数 697人

(平成29年度実績 助成を利用した接種者数 766人)

●「教えて!ドクター」(子ども疾病対応出前講座)の内容をまとめた冊子・アプリの活用

・主に0歳から2歳までの保護者を対象に講座を開催。病気に対する知識習得による不安解消と子育て力向上を図る

平成30年度実績 出前講座開催 29箇所(市内保育園・幼稚園) 延参加者数1,404人

(平成29年度実績 冊子・アプリの改訂(5,000部増刷))

●柳沢式運動あそびプログラムの実施

・巡回指導や全体会を開催。DVD等も使用し、運動あそびプログラムを取り入れた保育を実施

●「キッズキッチン」(食育講座)の開催

平成30年度実績 4回開催 延参加者数 65人

(平成29年度実績 4回開催 延参加者数 66人)

(平成28年度実績 4回開催 延参加者数 68人)

●「オールマイティ1年生事業」の実施

・全国の小学1年生を対象に、市内の体験・学習・文化・観光施設の無料パスを配布

※配布の状況

平成30年度実績 1,040冊

(平成29年度実績 1,041冊)

(平成28年度実績 1,009冊)

イ 未就学児の保育・教育環境の充実

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「子育て支援・児童福祉」についての満足度	目安値		—	28.9	—	31.1	32.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	26.7	—	29.1	—	32.0			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	障害児保育事業等の保育サービスをはじめ、子育て支援事業や児童館運営等の充実を図ってきたことにより、目安値に対し順調に推移しています。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	引き続き、ニーズに対応した保育の提供を推進します。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「幼児教育」についての満足度	目安値		—	27.9	—	30.1	31.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	25.7	—	33.2	—	36.8			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	信州型やまほい認定制度による自然を生かした保育・教育環境の充実を図ったほか、第3子以降保育料の無料化や通園費補助等ニーズに応じたサービスの提供により、目安値に対し順調に推移しています。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	引き続き、ニーズに対応したサービスを推進します。								

主な成果

●多様なニーズに対応した保育サービスの提供

・延長保育や一時保育、障がい児保育、休日保育、病児・病後児保育等の保育サービスを展開

* 市内施設数 公立保育園15園、私立保育園9園、私立幼稚園6園

* 延長保育の利用状況 (28園実施)

平成30年度実績 延 15,821人
(平成29年度実績 延 16,297人)
(平成28年度実績 延 15,853人)

* 一時保育の利用状況 (13園実施)

平成30年度実績 延 4,540人
(平成29年度実績 延 4,686人)
(平成28年度実績 延 4,993人)

* 障がい児保育の対象児童数(私立)

平成30年度実績 44人
(平成29年度実績 29人)
(平成28年度実績 30人)

* 広域入所事業の利用状況(受託)

平成30年度実績 45人
(平成29年度実績 37人)
(平成28年度実績 43人)

* 休日保育の利用状況 (3園実施)

平成30年度実績 延 760人
(平成29年度実績 延 830人)
(平成28年度実績 延 745人)

* 病児・病後児保育の利用状況

《病児保育: 浅間総合病院で実施》

平成30年度実績 延 276人
(平成29年度実績 延 260人)
(平成28年度実績 延 203人)

《病後児保育: 岸野保育園で実施》

平成30年度実績 延 18人
(平成29年度実績 延 14人)
(平成28年度実績 延 13人)

●私立保育園・幼稚園の運営費の補助

平成30年度実績 15園
(平成29年度実績 15園)
(平成28年度実績 15園)

●通園に係る経費への補助の実施

・最寄りの保育園まで4kmを超える園児の保護者に通園費を補助

* 対象児童数

平成30年度実績 55人
(平成29年度実績 53人)
(平成28年度実績 38人)

●ショートステイの実施

・一時的に児童の養育が困難になった場合に、原則7日間以内において児童養護施設での預かり支援を実施

平成30年度実績 2件
(平成29年度実績 2件)
(平成28年度実績 1件)

ウ 子育て支援拠点の機能の充実

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
小学生低学年の児童館利用率 【子育て支援課調】	目安値		27.5	27.6	27.8	27.9	28.0	%	
	実績値	27.4	28.8	31.2	29.8	30.7			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	市内全ての小学校区に児童館が整備されたことや、共働き家庭の増加等の理由により、年々利用率が上昇しているものと考えられます。								
今後の方針	子育て支援拠点の機能の一層の充実に努め、利用率の向上を図ります。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
つどいの広場の利用者の満足度 【子育て支援課調】	目安値		50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	%	
	実績値	—	50.0	59.1	69.2	70.8			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	市内5か所での広場の開催が定着してきたものと考えられます。								
今後の方針	引き続き、幅広い周知により、利用者の増加および満足度の向上を図ります。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
子ども未来館の来館者 数 【子育て支援課調】	目安値		98,000	98,500	99,000	99,500	100,000	人/年	
	実績値	97,293	102,279	100,174	91,001	101,733			
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	順調			
進捗状況の分析	H30(3月)にプラネタリウムがリニューアルオープンしました。県下最多となる800万個の星で再現する天の川や油井亀美也名誉館長出演、白井悠介氏にナレーションを担当いただいたオリジナル番組が好評であったこと、また指定管理者の営業努力などにより来館者の増加に繋がったものと考えます。								
今後の方針	引き続き、企画展示の充実やイベントの強化により、来館者数の増加を図ります。								

主な成果									
● 児童館の運営の充実									
＊ 来館者数合計									
平成30年度実績 318,558名									
(平成29年度実績 314,224名)									
(平成28年度実績 299,784名)									
● 放課後児童クラブに対し運営費の補助									
・就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生児童に対し、放課後の居場所を提供									
平成30年度実績 2箇所									
(平成29年度実績 2箇所)									
(平成28年度実績 2箇所)									
● 「子育てサロン」の開催									
・就学前の親子の不安を解消するため、就学前児童と保護者等が気軽に集まることができる機会を各児童館で提供									
開催箇所数 19箇所									
平成30年度実績 291回開催									
(平成29年度実績 292回開催)									
(平成28年度実績 306回開催)									
● 「つどいの広場」の開催									
・就学前親子の交流・遊びの場を提供									
＊開催場所:サングリモ中込、もちづき保育園内、あさしな保育園内、イオンモール佐久平、うすだ健康館									
平成30年度実績 913回開催 延利用者数 26,808人									
(平成29年度実績 869回開催 延利用者数 26,085人)									
(平成28年度実績 869回開催 延利用者数 24,791人)									
● 子ども未来館の運営充実									
・常設展示のリニューアルに向け、平成30年度に展示リニューアル実施設計を実施									
・令和元年度、展示製作・設置等の業務を行い、皆が「わくわく」する新たな施設にリニューアル予定									

エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	※市の子 育て支援 情報サイト （パパママ フレ）への アクセス 数
子育て支援サイトへの アクセス数（計画期間 の累計）	目安値		15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	件	
	実績値	－	10,958	21,551	29,918	48,108			
	【子育て支援課調】 進捗区分		努力を要する	概ね順調	概ね順調	順調			
進捗状況の分析		サイトの認知度も定着しつつあり、アクセス数は概ね順調に推移しています。							
今後の方針		引き続き、佐久市の子育て支援施策の情報発信を進めます。							

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
利用者支援事業の利 用件数(計画期間の累 計)	目安値		30	240	600	1,200	1,750	件	
	実績値	－	33	170	324	516			
	【子育て支援課調】	進捗区分		順調	努力を要する	努力を要する	努力を要する		
進捗状況の分析	目安値は達成していませんが、H29と比較すると着実に相談件数は増加しています。								
今後の方針	引き続き、積極的に周知を図り新規利用者の増加を狙います。								

主な成果									
●既存の各種サービスの的確な利用を支援する利用者支援事業の実施 ・教育・保育施設や各種子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所において、子育てコーディネーターによる情報提供や相談助言等を実施 - 平成30年度実績 192件 (平成29年度実績 151件) (平成28年度実績 140件) ●子育て支援情報サイト「パパママフレ」の運営 ・利用者が知りたい子育てサービスが容易に検索できるサイトを官民共同で運営 ●多胎児をもつ親の会「さくらんぼキッズ」への支援 ・多胎児が心身ともに健やかに育つために、同じ悩みを持つ保護者の情報交換の場を提供 - 平成29年度、平成30年度実績 年3回開催									

オ 様々な悩みを持つ家庭への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
子ども特別対策推進員 による家庭児童相談の うち関係機関と連携し て対応した数の割合 【子育て支援課調】	目安値		20.0	21.0	22.0	23.0	25.0	%	
	実績値	19.9	20.2	21.1	12.5	13.4			
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	相談件数自体は増加傾向にありますが、軽微な相談内容であったり、何度か相談を重ねることで相談者自身の意欲向上や悩みの解消に繋がり、他機関との連携を必要としなかった相談が多い状況であったことから、実績値は目安値より低い状況となっています。								
今後の方針	相談内容が多様化していますが、引き続き、増加する相談に対応しながら、適切・的確な判断のもと、必要に応じた学校や保健医療機関等の関係機関と連携を図っていきます。								

主な成果									
●チャイルドライン支援事業の実施 ・チャイルドラインを運営する団体へ補助金を交付 - 平成30年度実績 1件 (平成29年度実績 1件) (平成28年度実績 1件) ●子ども特別対策推進員・家庭児童相談員による相談支援事業の実施 ・子どもに関する様々な相談について、関係機関と連携した相談業務を実施 - 平成30年度実績 相談実数231件 連携件数31件 (平成29年度実績 相談実数232件 連携件数29件) (平成28年度実績 相談実数184件 連携件数39件)									

●療育支援センターの運営による障がい児への療育・機能訓練および生活指導の実施

*通園児の状況

平成30年度実績 利用登録者数 61人 延利用児童数 1,040人
 (平成29年度実績 利用登録者数 82人 延利用児童数 1,161人)
 (平成28年度実績 利用登録者数 110人 延利用児童数 1,375人)

●重症心身障がい児親子体験事業の実施

・夏休みに合わせて医療ケアが必要な重症心身障がい児のための日中活動スペースを期間限定で設け、関係機関の専門スタッフによるサポートを実施

平成30年度実績 H30.7.31～8.31(4日間)開催 預かった児童数 延32人
 (平成29年度実績 H29.7.25～7.28(4日間)開催 預かった児童数 延24人)
 (平成28年度実績 H28.7.26～7.29(4日間)開催 預かった児童数 延15人)

●不登校児童生徒への支援の実施

・スクールメンタルアドバイザーによる教育相談、チャレンジ教室の開室や不登校等対策連絡協議会を開催

*学校訪問件数

平成30年度実績 2,011件 学習:323件(16.1%)、家庭環境:337件(16.8%)、友だち関係:180件(9.0%)
 (平成29年度実績 2,331件 学習:353件(15.1%)、家庭環境:325件(13.9%)、友だち関係:278件(11.9%))
 (平成28年度実績 1,719件 学習:199件(11.5%)、家庭環境:250件(14.5%)、友だち関係:191件(11.1%))

*チャレンジP-Smile(不登校の児童生徒の親の会)開催数 (チャレンジ教室において開催)

平成30年度実績 6回
 (平成29年度実績 6回)
 (平成28年度実績 6回)

*不登校等対策連絡協議会での取組

平成30年度実績 「いじめ防止のための基本的な方針」についての協議
 (平成29年度実績 「子どもはみんなの宝」ポスター及びリーフレットの作成、配布)
 (平成28年度実績 「平成28年度 不登校等対策・取組への提言」を作成し、市内小中高等学校へ配布)

●就学支援委員会専門員による就学相談や就学支援委員会における適正な就学先の判断

・「夏期集中就学相談」等において保護者などから相談を受け、就学支援委員会でその子にとって最も望ましい就学先を判断

*夏期集中就学相談件数	*就学支援委員会諮問件数
平成30年度実績 89件	平成30年度実績 142件
(平成29年度実績 82件)	(平成29年度実績 136件)
(平成28年度実績 81件)	(平成28年度実績 130件)

カ 小中学校の教育環境の充実

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「学校教育」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.0	—	34.0	35.0	%	
	実績値	30.7	—	35.3	—	38.9			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	施策の推進により、H30満足度はH28より上昇しており、順調に推移しています。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	引き続き、目標値の達成に向け、学校教育のニーズを把握した施策を推進し、更なる教育環境の充実を図ります。								

主な成果

●理科支援員の配置

- ・理科専科の教員が配置されていない小学校に理科支援員を配置し、充実した理科教育及び問題解決学習を実施
平成30年度実績 高瀬小学校、平根小学校、田口小学校、臼田小学校 各1名配置
(平成29年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置)
(平成28年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置)

●学力向上加配職員の配置

- ・一人ひとりの児童生徒への指導がより深く、充実して行われるよう加配職員の教科性を生かし、学級担任とのチームティーチングを中心に指導
平成30年度実績 小学校9名、中学校4名配置
(平成29年度実績 小学校8名、中学校5名配置)
(平成28年度実績 小学校8名、中学校5名配置)

●外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得支援

- ・外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得のために日本語教室(浅科小学校)に日本語支援員を配置。また、日本語教室へのスクールタクシーを運行し、受け入れ態勢を整備
平成30年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 13名(在籍者数20名)
(平成29年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 13名(在籍者数18名))
(平成28年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
スクールタクシー利用者数 11名(在籍者数18名))

(4) 仕事と生活の調和の実現

ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	目安値		－	54	60	66	72	社	
	実績値	42	－	73	78	83			
	進捗区分		実績値なし	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	事業の周知により、「社員の子育て応援宣言！」登録企業数は順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き、事業の周知に努めます。								

主な成果

●「社員の子育て応援宣言！」登録企業の紹介等による啓発

- ・平成30年度市内事業所123社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。
- ・平成29年度市内事業所98社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付。市ホームページ掲載による周知を実施。

イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
男女共同参画推進事業者表彰件数 【人権同和課調】	目安値		5	5	5	5	5	件/年	
	実績値	5	4	3	3	6			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	順調			

進捗状況の分析	意識啓発や表彰制度の周知に努め、応募事業者が増加し、表彰件数が大幅に増加しました。
今後の方針	表彰制度のさらなる周知を図ることにより、男女がともに働きやすい職場づくりを引き続き推進します。

主な成果

●子育て世代の女性に対する相談支援の実施(県実施事業)

- ・子育て世帯の女性に対し、就労に関する悩みや不安の軽減を図り、就労に向けての支援を実施

平成30年度実績 就労件数 36件

(平成29年度実績 就労件数 60件)

(平成28年度実績 就労件数 55件)

●男女共同参画の積極推進事業者の表彰

- ・男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者の表彰を行い、模範的な取組を参考に男女ともに働きやすい職場づくりを推進

平成30年度 H31.2.12 イオンモール佐久平において表彰式を実施

(平成29年度 H30.2.9 佐久情報センターにおいて表彰式を実施)

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

基本目標の考え方	市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。
----------	--

数値目標の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	77.0	—	79.0	80.0	%
	実績値	75.1	—	78.7	—	75.4		
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	努力を要する		
総合分析	基本目標④の数値目標は、満足度・重要度市民アンケートに基づき設定しています。 『佐久市は住みやすい』と回答する人の割合について、H30実績値に基づく進捗区分を見ると「努力を要する」となっています。施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として「消防・救急」「高速交通ネットワーク」「医療」が上位を占めている一方で、「住みにくい」と回答した人の評価が低い施策としては「就労・雇用」「医療保険・国民年金」「地域交通ネットワーク」が上位を占める結果となりました。市の卓越性として、高速交通網の充実や医療福祉の充実、健康長寿などに代表される「暮らしやすさ」が挙げられますが、今後もこれらの強みや特徴を磨き上げ、十分に生かした施策を推進するだけでなく、現役世代の豊かな生活を保障できるような施策にも注力し多くの人に選ばれるまちにしていけることが重要です。 基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、17項目のうち、「順調」が6項目、「努力を要する」が6項目となりました。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。							
今後の方針	KPI「健康寿命の延伸」は男女ともに前年度よりも延伸、目安値を上回る結果となりました。佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化、佐久総合病院本院施設等整備に対する支援、老人福祉施設の整備・運営など、医療・福祉の確かな体制の構築に向けた取組を着実に推進した結果と考えられることから、健康長寿という特性をさらに実感してもらえるよう、引き続き事業の推進を図ります。 このほか、R元年からは、佐久平駅南土地地区画整理事業(樋橋地区)への支援による新たな経済・生活拠点の形成や、公共無線LAN(Wi-Fi)環境の整備などによる災害に強いまちづくりを推進するなど、多くの市民が暮らしやすさを実感して安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進していきます。							

(1) 持続可能な経済・生活圏の形成

ア 地域の特徴を生かした経済・生活の拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
「土地利用」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	16.2	—	18.7	20.0	%	
	実績値	13.7	—	17.2	—	19.7			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	市の特性や、それぞれの地域の特徴を生かした土地利用が図られているため、満足度が上昇していると考えられます。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	市を取り巻く様々な環境の変化を的確に捉え、今後も適切な土地利用を図ります。								

主な成果	
● 臼田地区の地域交流拠点施設「佐久市臼田健康活動サポートセンター」の活用による健康長寿のまちづくり	・チャレンジショップ、健康教室、つどいの広場等、小さなお子さんから高齢者まで安心して利用できる場所の提供や、まちの賑わいづくりに資する事業を実施 平成30年度実績 開館日数 290日 1日平均入館者数56名 (平成29年度実績 開館日数 292日 1日平均入館者数67名)
● 佐久市都市計画マスタープランの全面改定	・少子高齢化や人口減少など社会情勢の変化を踏まえ、機能集約型の都市構造を実現するとともに、本市の強みや特性を生かした都市づくりを推進するため、平成30年3月に佐久市都市計画マスタープランを全面改定
● 佐久平駅南地区開発のための調査・支援の実施	・土地区画整理準備組合による佐久平駅南地区の土地区画整理事業に対し、技術的・財政的支援を実施 平成30年度実績 主たる土地利用者の決定。仮換地指定に向けた換地設計や道路築造に係る設計等への支援 (平成29年度実績 区域の農振除外及び都市計画決定。佐久平駅南土地区画整理組合の設立)

イ 地域交通ネットワークの整備

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
「地域交通ネットワーク」についての満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	34.7	—	34.9	35.0	%	
	実績値	34.6	—	28.2	—	31.6			
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	実績値なし	努力を要する			
進捗状況の分析	高速交通の発展に伴い、インター周辺や幹線道路及び生活道路整備に対する重要度及び要望が高い状況であることから、引き続き計画的な道路整備を実施します。また、高齢化の進行から公共交通への依存度が高まり、利便性の向上が求められていることから、ニーズを踏まえた公共交通ネットワークを構築していく必要があります。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	引き続き、計画的な道路の維持管理を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、安全・安心な地域交通ネットワークの構築を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
公共交通延べ利用者数 【生活環境課調】	目安値		107,418	111,814	116,209	120,605	125,000	人/年	
	実績値	103,023	104,871	112,079	114,095	113,022			
	進捗区分		努力を要する	順調	概ね順調	努力を要する			
進捗状況の分析	市内循環バスの新設、市内巡回バスのデマンド化及び廃止代替バスの日中便のデマンド化をH29(10月)に実施し、概ね順調に進捗していましたが、これに伴い見込んでいたデマンドタクシー利用者数及び市内循環バス利用者数の増加に比べ廃止代替バス利用者(主に通学に利用している学生)数の減少が上回ったため、延べ利用者が減少となりました。								
今後の方針	引き続き、ダイヤ・ルートの見直しを行い利便性向上を図るとともに、利用講座の開催など利用促進事業を実施し利用者増を図っていきます。								

主な成果	
● 都市計画道路の整備	・市街地における安心・安全な生活環境の向上を図るため、都市計画道路の整備を実施 ※ 跡部臼田線 道路新設工事
● 地域や施設を結ぶ幹線道路の整備	・幹線道路の整備により、安全・安心でスムーズな交通を確保

＊幹線道路拡幅改良事業

平成30年度実績 2箇所（市道65-7号線（中石堂・長者原））

（平成29年度実績 2箇所（市道65-7号線（中石堂・長者原））

（平成28年度実績 6箇所（創錬の森周辺道路ほか5箇所））

＊東西幹線の整備

＊歩道整備を伴う道路改良事業

平成30年度実績 1箇所（市道2-1号線（岩村田踏切））

（平成29年度実績 3箇所（コスモホールアクセス道路ほか2箇所））

（平成28年度実績 3箇所（ 同 上 ））

●佐久市地域公共交通網形成計画の推進

・平成29年3月に策定した、佐久市地域公共交通網形成計画に基づき、平成29年10月から新公共交通体系に移行

平成30年度実績 デマンドタクシーの利用方法周知及び停留所整備を推進し、前年度より利用者が増加

ラッピングバスの導入等、市内循環バス利用促進に取り組み、前年度より利用者が増加

（平成29年度実績 高齢者の利用増進を図るため、日中にデマンド交通に移行し、前年度より利用者が増加

北陸新幹線の接続や新たな交通接続点を設け、市内循環バスダイヤを策定

（平成29年10月から運行）

ウ 安心して暮らすことのできる保健・医療・福祉体制の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「医療」についての満足度	目安値		—	43.0	—	48.0	50.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	39.4	—	45.8	—	46.7			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	概ね順調			
進捗状況の分析	市民の医療環境を充足するための施策を実施することで、市民満足度の向上が図られました。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	市民の医療ニーズの把握に努めるとともに、地域完結型医療体制の構築を促進します。								

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「高齢者福祉・介護保険」についての満足度	目安値		—	30.0	—	33.0	35.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	26.1	—	29.9	—	28.5			
	進捗区分		実績値なし	概ね順調	実績値なし	努力を要する			
進捗状況の分析	高齢者サービスのニーズが多様化していることから満足度が低下したと考えられます。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	地域包括ケアシステムの構築を促進します。また、介護予防事業の推進を図るとともに、要介護者に対し適正なサービスが提供できるよう努めます。								

指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(男性)	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年 間で算定
【高齢者福祉課調】	実績値	79.46	(79.89)	80.08	80.30	80.41	—		
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	未公表		
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、実績値が順調に延伸していると考えられます。 ※H30実績値は、R2(1月頃)に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								

今後の方針	引き続き、保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。								
指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
健康寿命の延伸(女性)	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年 間で算定
【高齢者福祉課調】	実績値	83.58	(84.32)	85.12	85.54	85.42	—		
	進捗区分		(順調)	順調	順調	順調	未公表		
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、基準値から見て実績値は順調に延伸していると考えられます。 なお、H28実績値と比較しH29実績値は低下していますが、佐久市女性の平均寿命は88.66歳(H28)から88.45歳(H29)となる中、健康寿命の若干の低下とともに、不健康な期間も3.12年(H28)から3.03年(H29)に縮減されている状況も見受けられます。 ※H30実績値は、R2(1月頃)に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	引き続き、保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。								

主な成果	
●佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化	・地域の中核病院として充実した医療の提供と住民の満足度の向上を図るため、計画的な整備を実施 ＊中央棟建設工事の状況 (平成28年度実績 <2期工事>手術室、糖尿病センター、医局、講堂等の整備 (H29年1月竣工、3月開院)) ＊中央棟完成に伴う手術件数等の増加 平成30年度実績 手術件数実績 2,533件 (平成29年度実績2,383件) (平成29年度実績 手術件数実績 2,383件 (平成28年度実績 2,356件)) 糖尿病外来患者数実績 14,206人 (平成28年度実績 12,563人)) ＊医療機器等整備の状況 平成30年度実績 X線透視診断装置 外40式・台 (平成29年度実績 生理検査超音波診断装置 外60式・台) (平成28年度実績 中央手術室映像システム 外100式・台) ・浅間総合病院の医師の市内への住宅取得経費に対し貸付を実施 平成30年度実績 0件 (平成29年度実績 0件) (平成28年度実績 2件)
●レスパイトケアの実施	平成30年度実績 利用者数8人 95日間 (平成29年度実績 利用者数2人 22日間(平成29年10月1日事業開始))
●過疎地における医療供給の安定化	・望月地域の中核的医療機関である川西赤十字病院と過疎地域の出張診療所への財政支援により、川西地域における医療供給の安定化を図る ＊川西赤十字病院への財政支援(川西保健衛生施設組合を介し、運営費を補助) ＊布施出張診療所開設への財政支援 ＊湯沢無医地区出張診療所開設への財政支援
●老人福祉施設の整備	・佐久市特別養護老人ホーム「シルバーランドみつい」「シルバーランドきしの」の老朽化等に伴う施設及び設備の改修を計画的に実施(平成30年度は「シルバーランドみつい」の空調設備等を改修) ・社会福祉法人ジェイエー長野会が実施する、佐久広域連合から移管された施設(特別養護老人ホーム・養護老人ホーム うすだコスモ苑)の整備に対し、補助金の交付と地域総合整備資金の貸付けを実施
●佐久医療センターの救命救急等の医療運営に対する補助	・佐久医療圏の地域医療を安定的に確保するため、救命救急及び周産期医療の機能を担う佐久医療センターの運営に対する財政支援を実施することにより、佐久地域における高度・専門医療提供体制を確保

※佐久医療センター運営への財政支援（佐久広域連合を介して補助）（H28～）

●地域包括ケアシステムの強化

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができるよう、地域の自主性に基づき、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」に係るサービスの包括的な確保を目指し、支え合いの仕組みづくりを推進

エ 広域的な連携の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「広域連携」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	17.9	—	19.3	20.0	%	
	実績値	16.5	—	24.9	—	20.5			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏構成市町村間の連携強化を図るなど市町村連携を強力に進めています。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要になることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進め、満足度の維持を図ります。								

主な成果

●佐久地域定住自立圏における連携強化

- ・将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域を目指すため、第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、12分野21項目における各種施策を関係市町村と連携・協力し推進

●新クリーンセンター整備の推進

- ・将来にわたり佐久地域の安全・安定・安心なごみ処理体制を維持するため、佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町の1市3町で構成される佐久市・北佐久郡環境施設組合により、令和2年11月末の完成を目指し工事を実施

（２）人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化

ア 公共施設等の適正管理と有効活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「公共施設」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	20.0	—	20.0	20.0	%	
	実績値	15.9	—	20.3	—	21.1			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	H29(3月)に「公共施設等総合管理計画」を策定し、これに基づいて公共施設の適正化に取り組んでいます。H30は目安値を超える実績値となり、浅科支所の複合化など具体的な事業が進展していることについて、一定の市民理解が得られたものと捉えています。今後も、施設の複合化など適正化の取組やその成果を市民に明確に示すとともに、管理運営の効率化など地道な適正化に取り組むことで市民の満足度の向上を図る必要があります。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	・「公共施設等総合管理計画」に基づき、適正管理に資する取組を推進し、掲げた目標の達成を目指します。なお、概ね5年ごとに現状把握や進捗状況の検証を行い、公表するとともに必要に応じて計画の見直しを行うものとします。 ・各施設所管課による「個別施設計画」の策定が順調に進むよう、情報提供及び作成支援を行います。 ・適正化に関するプロジェクトについて、施設所管課による市民との合意形成への支援や、他課との調整等を行います。 以上の取組により、更なる満足度の向上を図ります。								

主な成果									
●公共施設等の総合的なマネジメントの推進 ・公共施設等の適正化を推進するため、個別施設計画に関しての職員向け研修を開催									

イ 空き家等の利活用

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
サテライトオフィス設置支援事業による事業所の立地件数(計画期間の累計) 【商工振興課調】	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲
	実績値	—	0	0	0	1			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	サテライトオフィス設置可能な空きオフィスがあるものの、企業側が考える業務体制や導入コストの費用対効果が割に合わない等の理由から、1件は誘致できたものの、全体として目安値には届いていない状況です。								
今後の方針	情報通信技術の発達はもとより、R2の東京オリンピック時における首都圏の混雑緩和や企業における働き方改革の推進の動きなどにより、企業のサテライトオフィス設置のニーズは高まっていることから、市の情報センターをテレワーク拠点施設として改修するとともに、企業が空き事務所等を利用してテレワーク施設(サテライトオフィス含む。)を設置する際の補助金を拡充することにより、サテライトオフィスの立地促進を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
空き家バンク登録物件の契約成立件数 【移住交流推進課調】	目安値		50	55	60	60	60	件/年	※再掲
	実績値	45	75	70	39	34			
	進捗区分		順調	順調	努力を要する	努力を要する			
進捗状況の分析	空き家バンクへの掲載物件の減少に伴い契約成立件数が伸び悩んでおり、物件の掘りおこしが必要です。								
今後の方針	空き家バンクへの登録件数自体が減少していることから、宅建協会や建築住宅課との連携を深め、物件の掘り起こしを進めます。また、多様な移住希望者のニーズに応え、新たに別荘物件や要改修物件等を紹介します。併せて今まで以上に空き家バンク制度のPRを行い、物件の確保に努めます。								

主な成果									
●無居住家屋等実態調査の実施 ・増加する空き家等の対策を推進するため、現地調査及び意向調査を実施 ※市内推定空き家数 3,129軒 世帯数に対する空き家数の割合 7.6% (H30.1.11現在)									

(3) 住民が地域防災・防犯の担い手となる環境の確保

ア ICT等を活用した災害対策の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
一斉通報・連絡システムの登録者数 【広報情報課調】 ※H27開設	目安値		600	1,200	1,800	2,400	3,000	人	
	実績値	—	2,190	2,336	2,780	3,592			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	登録者が大幅に増加したのは、市内小中学校保護者へ直接周知を行ったことによるものと考えられます。								
今後の方針	引き続き、システムの周知を行うとともに、特にアプリ登録者の増加促進を図ります。								

主な成果	
●佐久市情報配信サービス「さくネット」の運用	- 防災・気象情報、防犯情報等の市民が希望する情報を、固定電話、携帯電話、パソコンメール、携帯メール、スマホ等アプリ、FAXの中から、受信者が希望する媒体で、一斉配信を行う。 (平成27年度から開始、平成30年度からJアラートと一部連携)
●公共無線LAN(Wi-Fi)環境の整備	市役所本庁舎や佐久総合運動公園などの28の公共施設に、35AP(アクセスポイント)を整備

イ 自主的な防災・消防活動への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
自主防災組織数	目安値		235	235	235	235	237	組織	
【危機管理課調】	実績値	235	235	235	235	236			
	進捗区分		順調	順調	順調	順調			
進捗状況の分析	自主防災組織の組織化は区長会理事会、区長会総会等で推進した結果、1組織増となりました。								
今後の方針	高齢化・人口減少が進む中で、防災体制の組織機能が安定して維持できるよう、引き続き、区長会等機会を捉え、体制維持・増加に努めます。								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	R1 （目標値）	単位	
消防団員の充足率	目安値		97.6	98.3	99.0	99.7	100.0	%	
【危機管理課調】	実績値	96.9	98.0	98.3	99.6	98.8			
※条例定数に対する充足率	進捗区分		順調	順調	順調	努力を要する			
進捗状況の分析	機能別団員制度の創設、また、団幹部と情報共有をし、未加入者に対し勧誘を図りましたが、団員改選時期と重なったことも起因し、前年と比較し減少となりました。								
今後の方針	未加入者等に積極的な呼びかけを行い、条例定数の確保に努めます。								

主な成果	
●地域における減災・防災に係る取組の促進	※防災訓練を実施した自主防災組織数 - 平成30年度実績 156組織 (平成29年度実績 151組織) (平成28年度実績 158組織)
●消防団員の確保	・イベントにおける募集チラシの配布等の呼びかけにより、地域の防災力確保の要である消防団員の確保を推進 ※消防団員実員数 - 平成30年度実績 1,819人 (平成29年度実績 1,835人) (平成28年度実績 1,810人)
●消防団の装備品の充実	・「消防団の装備の基準(H26.2.7改正)」に基づき、安全装備品や救助活動用資機材等の配備を充実し、災害時における消防団の対応力を強化 ※配備実績 - 平成27～29年度実績 救助用半長靴、耐切創製手袋、背負式消火水囊、チェーンソー、防塵メガネ、防塵マスク 防寒衣(平成27～29年度の3ヵ年で全分団及び全団員に配備を実施)
●消防団施設の整備	・老朽化した小型動力ポンプ付積載車等の配備を計画的に実施

＊整備実績

平成30年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台（御馬寄、中原）
 小型動力ポンプ 5台（太田部、式部、長者原、協東）
 （平成29年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台（上平尾、御牧原（浅科））
 小型動力ポンプ 5台（下宿・荒田、太田部、式部、長者原、協東））
 （平成28年度実績 小型動力ポンプ付積載車 3台（長土呂、臼田住吉、堀端）
 小型動力ポンプ 5台（黒田、牧布施、向反、天神、大谷地））

ウ 防犯対策の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H30	R1 (目標値)	単位	
防犯灯のLED化率 【総務課調】	目安値		100	100	%	
	実績値	－	97.7			
	進捗区分		概ね順調			
進捗状況の分析	H30中にLED化100%を目指しましたが、既設防犯灯が電柱の基準を満たせない、柱の老朽化が進み柱ごと交換が必要、一般家屋の軒下にあり家主との調整を要する等、単純な交換作業では対応できない案件が生じたため、目安値の達成には至りませんでした。					
今後の方針	R元年中に課題を解決しながら全基LED化を達成します。					

（４）ふるさとづくりの推進

ア ふるさとと世界を知る子どもの育成

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
青少年育成活動件数 (計画期間の累計)	目安値		5,500	11,000	16,500	22,000	27,500	件	
【生涯学習課調】	実績値	－	5,372	10,398	15,404	20,203			
※H26実績：5,306件/年	進捗区分		概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調			
進捗状況の分析	概ね順調に推移しているものの、児童数の減少傾向による影響と考えられる各地区における青少年育成活動件数の減少という結果を受け、青少年育成活動について更なる活発化を図れるよう支援を強化する必要があります。								
今後の方針	目標値の達成に向け、地区における青少年育成活動について更なる活発化を図るため、育成推進員研修会の開催及び補助金の周知など積極的に支援を行います。								

主な成果

●地区育成活動の推進

- ・地域の特性を生かした地域ぐるみの青少年育成事業を実施している各地区育成会に対し、補助金を交付
- ＊地域体験活動補助金
 - 平成30年度実績 146件
 - （平成29年度実績 153件）
 - （平成28年度実績 138件）

●学校給食応援団～地産地消と食育を推進～

- ・佐久、臼田、浅科、望月の各地域において、学校給食応援団の活動により地産地消と食育を推進

●青少年の人材育成のための国際交流の実施

- ・佐久市内の中学生を対象とした海外研修や、友好都市の子どもたちの受入を実施

＊中学生海外研修

平成30年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 7人
 (平成29年度実績 エストニア共和国 8人 モンゴル国 8人)
 (平成28年度実績 アメリカ合衆国 8人 モンゴル国 8人)

＊子ども交流研修 受入実績

平成30年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から8人
 (平成29年度実績 エストニア共和国サク市から8人、モンゴル国スフバートル区から8人)
 (平成28年度実績 エストニア共和国サク市から7人)

イ 生涯学習環境の整備と活動の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	
「生涯学習」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.7	—	35.0	36.0	%	
	実績値	30.3	—	35.4	—	35.5			
	進捗区分		実績値なし	順調	実績値なし	順調			
進捗状況の分析	比較的生涯学習活動に参加しやすい子どもや高齢者をターゲットに設定し、学習機会を提供してきたことで、目安値に対し順調に推移しています。 ※満足度・重要度市民アンケートは隔年実施のため、奇数年度は「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります。								
今後の方針	時間に余裕のある世代だけでなく、仕事等で忙しい若い世代も取り込めるような事業を推進します。								

主な成果

●高齢者大学・大学院の開催

・65歳以上の方が生きがいを見つけたり、仲間づくりができる機会を提供

＊活動の状況

《高齢者大学》 平成30年度実績 18回開催 延参加者数 2,897人
 (平成29年度実績 18回開催 延参加者数 2,875人)
 (平成28年度実績 18回開催 延参加者数 2,722人)
 《高齢者大学大学院》 平成30年度実績 13回開催 延参加者数 241人
 (平成29年度実績 13回開催 延参加者数 190人)
 (平成28年度実績 12回開催 延参加者数 226人)

●佐久市文化振興基金の運用益による文化振興事業の実施

・文化振興基金の運用益を活用した「キッズ・サーキット」を開催し、若い親子世代が楽しみながら学べる機会を提供

平成30年度実績 H30.8.3～8.5(3日間) 21演目 延来場者数 5,310人
 (平成29年度実績 H29.8.4～8.6(3日間) 19演目 延来場者数 5,612人)
 (平成28年度実績 H28.8.5～8.7(3日間) 22演目 延来場者数 4,879人)

●図書館サービスの充実と読書活動の推進

＊読書通帳の発行数

平成30年度実績 1,205冊
 (平成29年度実績 1,246冊)
 (平成28年度実績 1,191冊)

＊「ちいさい子のおはなし会」の充実

・平成29年度から臼田において隔月開催

＊セカンドブック事業の開始(H29.8～)

＊インターネット予約サービスの開始(H27.11～)

平成30年度末までの登録者数 860名
 (平成29年度末までの登録者数 666名)

＊夏休み期間中の行事の充実

夏休みワクワク子ども実験室(中央図書館のみ) 参加者20名

＊移動図書館(草笛号)の更新

＊移動図書館(草笛号)のステーション増設

臼田(うすだ健康館)に1か所増設(H30.1～)

平成30年度 地方創生関係交付金事業の実施結果

地方創生推進交付金（1/2）活用事業

ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数	目安値		200	200	200	40	人世帯	・R元年度中の住まい整備が完了するまで(H28～30)は、移住相談件数を目標値として設定 ・R元年度は移住者数(サ高住への入居決定者数)を目標値として設定
	実績値	0	155	100	124			
	進捗区分		努力を要する	努力を要する	努力を要する			
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
サ高住等における新たな雇用者数	目安値		0	0	0	15	人	サ高住はR元年度開所予定
	実績値	0	0	0	0			
	進捗区分		実績値なし	実績値なし	実績値なし			
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	R1 (目標値)	単位	備考
公共施設の活用件数	目安値		0	0	0	1	件	サ高住はR元年度開所予定
	実績値	0	0	0	0			
	進捗区分		実績値なし	実績値なし	実績値なし			
進捗状況の分析		市、移住促進センター双方における施設のPRが不足していたことが考えられます。						
今後の方針		引き続き、PRに努めるとともに、イベント等の開催を通じ達成に努めます。 なお、当該事業に係る目標は当初、H30を最終年度として設定していましたが、事業の進捗状況によりサ高住の開業がH31にずれ込む見込みとなったことから、H30までの目標はH29と同様の移住相談件数(200件)とし、R元年の目標を移住者数(40人)へ変更しました。						

イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～"SAKU Health-care model"の構築・展開を目指して～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H27 （基準値）	H28	H29	H30	R1	R2 （目標値）	単位	
保健医療のシステムや ヘルスケア関連機器等 の海外輸出につながっ た件数	目安値		0	2	4	7	10	件	
	実績値	0	0	0	1				
	進捗区分		実績値なし	努力を要する	努力を要する				
指標名	年度別 評価	H27 （基準値）	H28	H29	H30	R1	R2 （目標値）	単位	
「健康長寿」に関連した 新たな事業（創業、新 規事業、新製品・新技 術の開発、新規立地 等）創出件数	目安値		0	2	5	10	20	件	
	実績値	0	3	6	18				
	進捗区分		順調	順調	順調				
進捗状況の分析	H28に佐久市健康長寿産業振興ビジョン及び佐久市健康長寿まちづくり計画を策定するとともに、H30（6月）には一般社団法人佐久産業支援センターを設立し、ヘルスケア関連産業や「健康長寿」を生かした新たな事業等の創出・拡大に努めているところです。H30は、新たに海外輸出へつながった事例が1件、新製品・新技術の開発が6件、創業が4件、新事業への参入が2件あり、「健康長寿」という強みや市の取組が市内企業等に着実に浸透しているものと考えられます。								
今後の方針	H30（6月）に一般社団法人として立ち上げた「佐久産業支援センター」において新製品・新技術の開発、販路拡大等を支援することにより、ヘルスケア関連機器等の海外輸出及び「健康長寿」に関連した新たな事業創出件数の増加に努めます。								